

平成 21 年度（2009 年度）

豊中市 食育推進計画年次報告書



えがおも
おいしい
おかずだね!!



今日の食事が、
明日のチカラ。

豊中市
Toyonaka City

豊中市食育推進計画のシンボルマークとキャッチフレーズについて

「市民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かな生活ができることをめざす」
豊中市食育推進計画の実現を図り、市民のみなさまに計画を身近なものと感じていただくために募集をしました。
一般の部、児童の部から選ばれた作品です。(応募総数1,109作品)



シンボルマーク一般の部
松浦 知恵子さんの作品



シンボルマーク児童の部
新田小学校
上村 梨花さんの作品

**今日の食事が、
明日のチカラ。**

キャッチフレーズ一般の部
榎 寛子さんの作品

**えがおも おいしい
おかずだね!!**

キャッチフレーズ児童の部
南桜塚小学校
東 千咲季さんの作品

豊中市食育推進計画年次報告書 目次

1	平成21年度（2009年度）の特徴的な取り組み	1
	高校生とつくるお口の健康づくりパネルシアター	2
	ライフステージに合わせた料理講習会	8
	「給食おいしいね」学校給食の今と昔	16
2	推進計画の数値目標の達成状況（意識調査）	23
3	各事業の進行状況	33
	1. 行政の取り組み	
	出版物(34) 映像(35) インターネット(35) 図書(35) 相談対応・指導(35)	
	総合的情報提供(40) 交流・体験機会の提供(41)	
	各種料理教室・講演会・イベント(44) 講師派遣(51) その他啓発(51)	
	食品廃棄物・地産地消(53) 市民による自主活動への支援(53)	
	関係機関の連携(56)	
	2. 教育・保育の取り組み	
	出版物(57) 相談対応・指導(57) 交流・体験機会の提供(59)	
	各種料理教室・講演会・イベント(61) 食品廃棄物・地産地消(63)	
	連携(64) 体制づくり(64)	
	3. 地域社会の取り組み	
	相談対応(66) 体験(66) 各種料理教室・講演会・イベント(66)	
	活動支援(70) 食品廃棄物・地産地消(71)	
4	その他（食育関連の情報提供等）	73
	食育推進貸出グッズ一覧	74
	食育推進グッズ貸出実績	83

＜ コラム ＞

1.	「食の育みフォーラム 21 in とよなか」 ～市長と素顔のシェフが語るおもてなしの心～	7
2.	「ボランティアのための食の安全・安心講座」のその後	15
3.	平成20年度ランチメニューコンテスト入賞作品は???	21

1 平成 21 年度（2009 年度）の特徴的な取り組み

平成 21 年度（2009 年度）に行われた
食育に関する取り組みの一部をご紹介します。

高校生とつくるお口の健康づくりパネルシアター
ライフステージに合わせた料理講習会
「給食おいしいね」学校給食の今と昔

〈 コラム 〉

1. 「食の育みフォーラム 21 in とよなか」
～市長と素顔のシェフが語るおもてなしの心～
2. 「ボランティアのための食の安全・安心講座」のその後
3. 平成 20 年度ランチメニューコンテスト入賞作品は???

事業名称

高校生とつくるお口の健康づくりパネルシアター

新規事例

世代間交流（幼年期・青年期）

対応するライフステージ

妊娠期

幼年期

少年期

青年期

壮年期

中年期

高年期

0歳～

6歳～

15歳～

25歳～

45歳～

65歳～

関係する分野

教育 ・ 保健

対応する大目標

V お口の健康を維持・増進しよう

対応する年代別目標

幼年期 歯みがきの習慣をつけよう

青年期 定期的な歯科健診を受け、お口の健康を保とう

対応する施策の展開

幼年期 ⑦ 子どものお口の機能発達に関する理解の支援

⑧ 歯科保健の推進

青年期 ④ 歯科保健の推進

1. 目的

お口の健康を維持・増進することは「食」を支え、健康な食生活を送るために大切である。高校生と協働し、幼年期向けのパネルシアター教材の企画と作成を行い、高校生自身によって、幼児に実演することにより、幼年期のみならず青年期のお口の健康への感心を高めることを目的に行った。

2. 主催 健康支援室

3. 協力 大阪府立桜塚高等学校家庭科クラブ (社) 豊中市歯科医師会

4. 内容

① 幼年期向け歯科保健パネルシアターの作成

『にこりちゃんとぴかりくんのだいぼうけん』

「カムカムの街」や「おやつ街」などいろいろな街を通りにこりちゃんとぴかりくんが探検をして学びながら、丈夫な歯を持つ元気な子どもの国に向かって進んでいくストーリー

② パネルシアターを用いての高校生による歯科保健啓発活動（幼児への実演）

③ 市内関係機関、団体などに作製した教材を貸し出したり、台本や型紙・演じ方 DVD を配布したりすることによりお口の健康づくりにかかる食育活動を行えるように支援する。

5. スケジュール

時 期	内 容
4 月～	教材内容について、高校生と打ち合わせ
5 月～	パネルシアター台本作成、豊中市歯科医師会に監修を依頼
7 月～8 月	パネルシアター作製と練習
9 月 19 日	桜塚高等学校へ豊中幼稚園園児招待、パネルシアター初回公演
10 月～3 月	パネルシアターを用いての歯科保健啓発活動5回実施 パネルシアター型紙・演じ方 DVD の作成
平成 22 年 (2010 年) 4 月～	パネルシアター貸し出し・型紙配布の実施

6. 公演実績

公演先	人数（概算）
桜塚高等学校文化祭	親子 30 組（幼稚園児招待）
中央公民館まつり	親子 15 組
わくわくらんど庄内	親子 5 組（未就学児）
すこやかプラザまつり	親子 50 組（未就学児）
すこやかネットカーニバル	45 人

7. 考察

パネルシアター作成を行うなかでは「歯の大切さについて考えることができてよかった」「子どもだけでなく高校生へも PR できる内容だと思った」「だらだら食べることを自分もやめようとおもった。」「今まで知らなかった歯科衛生士や栄養士の仕事を知れてよかった」「幼児に歯の大切さについて知ってもらいたい」など高校生みずからの気づきになれた。

また、公演後には「子どもたちが楽しんでくれてうれしい」「もっと小さい子と触れ合いたい」「次が楽しみ」など前向きな意見もみられた。

高校生が考え教材を制作することで、青年期のお口の健康づくりについて考えてもらえる機会となった。さらに高校生が幼年期の子どもたちにお口の健康づくりについて指導を行ったことで、幼年期の興味も、高校生の興味もより一層高まったと思われる。

今後も制作したパネルシアターを活用し、広く歯科保健の大切さについて啓発ができることを期待する。

○ にこりちゃんとぴかりくんの大冒険 パネルシアター練習風景



パネルシアター



パネルシアター絵人形のいろいろ



すべて高校生が作りました



パネルシアター公演後には歯やお口の健康を守るための3つのお約束を書いた手作りメダルを子どもたちにプレゼントしました。

高校生のお姉さんから3つのお約束を書いたメダルをもらったあとは子どもたちから「ありがとうございました」と元気のよいお礼もありました。



高校生の活動が新聞にも載りました。(2社)

劇を楽しむ、

豊中市

幼稚園の大切さ学んで

市立桜塚小学校と市健康支援室

「パネルシアター」制作 園児招き、きょう初披露

文化祭でのパネルシアターの披露を前に練習に集む家庭科部のメンバー

同家の歯科衛生士が、虫歯予防などについて分かりやすく普及できないかと、パネルシアター形式による教材づくりを発案したのがきっかけ。今年1月、同市教育委員会から、小学生の料理教室などのボランティア活動にかかわっていた同校家庭科部を紹介し、企画が実現するこ

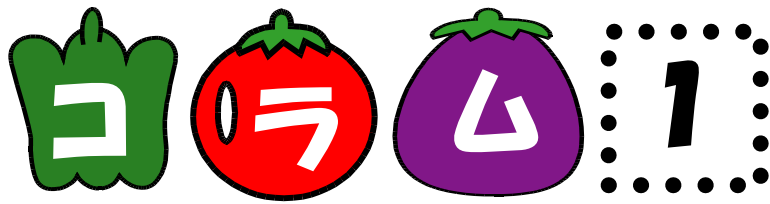
とになった。

2月から家庭科が口の健康について本などを調べながら、シナリオ作りをスタート。同校や市立幼稚園の指導・助言を受けながら、約2カ月で書き上げた。

パネルシアターは、布を張った舞台に、不透明の透明板を張り、その裏側に人形などを張り付けたりして、動きを演出する。7月下旬からパネルシアター作りになっている。

同部員も、漢野草織さん16は、「これまでクラフトや料理で作る中で関心はあったけど、口の健康を気にしてなかった。園児には、劇を楽しむながら、歯磨きの大切さを学んでもらいたい」と話している。

文化祭は、招待で一般の人参加。四い合わせは電話04(0)6203125044、同校家庭科部顧問・藤原(電話)・(林林敬治)



「食の育みフォーラム21 in とよなか」

～市長と素顔のシェフが語るおもてなしの心～



豊中市の食育を市民に身近に感じ、また考えてもらうため、年に1度食育推進フォーラムを開催しています。

平成21年度のフォーラムは、「食の育みフォーラム21 in とよなか」～市長と素顔のシェフが語るおもてなしの心～と題し、インタビューショーや豊中市産の農作物を使った料理の試食会など盛りだくさんな内容で開催しました。

第1部インタビューショー「おもてなしの心」って何だろう?! では、北摂で飲食店を経営するオーナーシェフの会「北摂会」から3人の料理人がボランティアとして出演し、豊中市長や市民の代表とともに、ご自身のおふくろの味や、日ごろから大切にしているおもてなしの心について、ていねいにお話いただきました。

また、それに続く試食会では、地産地消の取り組みとして豊中市産の野菜を使ったお料理の調理実演とその試食、また市長もプロの料理人とともに豊中市産米を使った炊きこみご飯の紹介を行いました。

残暑が厳しいころでしたが、166人の参加者がふだんはあまり目にする事のない料理人の素顔に触れ、プロが腕を振ったお料理に舌鼓をうち、とてもたのしく食育を考えるつどいとなりました。

出演してくださった北摂会会員

一汁二菜うえの 上野さん

ラ・メゾン プランシュ 加藤さん

ラ・ミア クッチーナ笠井 笠井さん



事業名称

ライフステージに合わせた料理講習会

新規事例

全ライフステージへの展開

対応するライフステージ

妊娠
期

幼
年
期

少
年
期

青
年
期

壮
年
期

中
年
期

高
年
期

0歳～

6歳～

15歳～

25歳～

45歳～

65歳～

関係する分野

教育

対応する大目標

- I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう
- Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう
- Ⅳ 食べる物、食べることを大切にしよう

ライフ ステージ	対応する年代別目標	対応する施策の展開
妊娠 期	・栄養バランスのとれた食生活を実践しよう	③妊産婦のための食事バランスガイドの普及・啓発や食の安全についての情報提供
幼 年 期	・いろいろな食材を食べよう	①基本的な生活習慣についての情報提供と啓発
少 年 期	・早寝・早起き・朝ごはんを実践しよう ・食の大切さ、調理の方法を学ぼう	⑧学校、地域、行政などとの連携による食育の推進
青 年 期	・情報を正しく理解しよう	①食に関する知識の普及・啓発や情報提供
壮 年 期	・メタボリックシンドロームの予防に取り組もう	①メタボリックシンドローム予防の啓発
中 年 期	・地域や家庭で食事を楽しもう	③調理技術の向上に対する支援
高 年 期	・「低栄養」の予防に取り組もう	③健康状態にあった食育の推進

1. 目的

豊中市食育推進計画の具体的実践として、世代に合わせた料理づくりを学び、併せて食と健康について学ぶ機会とする。

また、同世代のコミュニケーションの機会の提供となることを期待している。

2. 主催 豊中市立中央公民館

3. 講師 家庭料理研究家 池田 栄美さん

4. 日時・内容

日時	タイトル・内容	対象・定員	参加費	参加者数
第1回〈妊娠期〉 9月26日（土） 11時～14時	「マタニティークッキング」 ～バランスのとれた料理づくり～ 〈献立名〉 ・白米と玄米のブレンドご飯 ・味噌と豆乳のヘルシー椀 ・鶏肉の包み焼 ・ひじきと大豆の煮物 ・ちりめんじゃこのふりかけ ・デザート	妊娠期の女性 とパートナー 24人	1人 700円	15人
第2回〈幼年期〉 10月31日（土） 11時～14時	「幼年期（3～5歳）とその保護者の料理講習会」 ～いろいろな食材を使って& はじめましての調理器具～ 〈献立名〉 ・シャケ寿司	3～5歳児と その保護者 12組	1家族 700円	10組 (20人)
第3回〈少年期〉 12月19日（土） 10時～13時	「少年期の料理教室～朝ごはんをつくってみよう～」みそ汁づくり 〈献立名〉 ・さつまいもごはん ・豚汁 ・デザート	小学生 20人	500円	20人

日時	タイトル・内容	対象・定員	参加費	参加者数
第4回〈青年期〉 12月22日(火) 14時～16時	「高校生のための料理講習会～ 情報を正しくつかもう～」 日本の伝統料理を学ぶ 〈献立名〉 ・赤飯 ・茶碗蒸し ・筑前煮 ・デザート	高校生 24人	500円	8人
第5回〈壮年期〉 1月30日(土) 11時～14時	「壮年期(25～44歳)の男性 の料理～自分でお昼の弁当つく りませんか～」メタボリックシン ドロームにならない食事 〈献立名〉 ・焼き鳥 ・蒸し野菜 ・お汁 ・デザート	一般 24人	700円	15人
第6回〈中年期〉 2月21日(日) 11時～14時	「中年期(45～64歳)地域や 家庭で食事を楽しもう」 イベントで作れる料理あれこれ 〈献立名〉 ・おでん ・焼きおにぎり ・おぜんざい ・塩昆布、梅昆布茶	一般 24人	700円	15人
第7回〈高年期〉 3月20日(土) 11時～14時	「高年期(65歳以上)低栄養予 防についての料理」 〈献立名〉 ・ゆで鶏 ・さくらもち	一般 24人	700円	20人

5. 考察

食育推進計画の具体的実践として、世代に合わせた料理づくりと併せて「食と健康」について学び、また同世代のコミュニケーションの場としても役立った。

講師には日常的な献立を工夫し、食材の選定にも留意していただいた。ごはんは、白米１：玄米１や白米１：玄米２といったブレンドで炊くことで、色々な食感を味わっていただいた。また、炊飯器で炊くのではなく、土鍋を使って炊くことに参加者は驚いておられた。

世代ごとに分けたことで、話がはずみ交流の場づくりには成功だったと考えている。

妊娠期・・・ご夫婦での参加が３組あり、和やかだった。妊娠期は特にバランスのとれた食事が大切であるが、講師のひと工夫がとても参考になった様子である。

幼年期・・・家ではなかなかお手伝いをしたくてもさせてもらえない年頃で、当日は子どもたちが中心となって料理に挑戦していた。公民館の料理室が子ども仕様ではないので、作業がやりにくいようではあったが、料理づくりを楽しんでいる様子がうかがえた。

少年期・・・朝食をしっかり食べることや、料理を作る楽しさを学び、自分たちが作ったご飯をお腹いっぱい食べて、友達同士での楽しいひと時を過ごした。

青年期・・・公民館講座への申込み参加が難しい年代であるが、８名の参加があった。また、男子の高校生２名が少年期料理講習会にお手伝いをしてもらえた。

壮年期・・・豊中保健所の「すっきりスリムアクティブ父さん」応援事業と連携し、料理講習会の前に「腹囲測定」「メタボ予防」のミニ講座もあり好評だった。

中年期・・・イベントで作れる料理ということで、講師にはメニュー選定に苦勞していただいたが、ちくわの中にもちを入れるなど具材で工夫を加えたことで話題性のあるものとした。

高年期・・・当初予定のケーキづくりから献立を変更、季節に合わせた“さくらもち”を作り、好評だった。ゆで鶏も、鶏肉が意外と食べやすくなったと好評だった。

今後は、料理講習会でだけでなく、ミニ講習会も含めた講座展開をはかれるように検討したい。

〈レシピ紹介〉

少年期の料理教室 ～朝ごはんをつくってみよう～

＊さつまいもの炊き込みごはん＊

米	3合	
さつまいも	1本	黒ごま
梅干し		

1. さつまいもは皮をよく洗い、1cmのさいころ状に切り、水にさらす。
2. 米をとぎ、水を通常通り加えさつまいも、梅干しを加え炊く。
3. 炊きあがったらよく混ぜ、茶碗に盛る。炒った黒ごまを手でひねりながらかける。

＊豚汁＊

豚こまぎれ	200g
玉ねぎ	1/2個・・・大きめの色紙切り
大根	1/6本・・・大きめの色紙切り
人参	1/3本・・・大きめの色紙切り
こんにゃく	1/2枚・・・大きめの色紙切り
かぼちゃ	1/6個・・・大きめの色紙切り
きのこ	1/2パック・・・食べやすいように
青ねぎ	1/2束・・・輪切り
味噌	大4

1. 鍋に切った野菜と水4カップ入れ火にかけ、沸騰したらアクをとる。豚肉とこんにゃくを加えやわらかくなるまで煮る。
2. 火が通ったら味噌を味をみながら加え火をとめる。青ねぎを加える。

＊干物＊

みりんぼし
・軽くあぶる

＊フルーツプディング＊

柿	1個・・・皮をむき、1cmの角切り
卵	1個
砂糖	30g
牛乳	200cc

1. ボウルに卵を割りほぐし、砂糖を加えよく混ぜる。牛乳を加え更に混ぜる。
2. 耐熱容器に柿を散らし1の卵液を注ぎ、オーブンで焼く。180℃20分。
あら熱がとれたら、好みにグラニュー糖をふりバーナーで焦げ目をつけてもいい。

中年期 地域や家庭で食事を楽しもう ～イベントで作れる料理あれこれ～

おでん

だいこん	1/2 本	トマト	
こんにゃく	1/2 枚	溶けるチーズ	
ゆでたまご	4個		
ちくわ	2本	水	6～8 カップ
すじ	4本	昆布	
キャベツ	4枚	しょうゆ	大 3～4
鶏ミンチ	200 g	砂糖	大 2～3
ねぎ	2～3 本	白だし	適量
きのこ	適量		
れんこん	適量		
塩、こしょう、片栗粉大2			
卵小1個、しょうゆ少々			

1. だいこんは厚さ 3～4cm の輪切りにし、皮をむき、米のとぎ汁で柔らかくなるまで下ゆでする。水洗いする。

2. こんにゃくは三角形に切り水からゆで沸騰後数分でザルに上げる。

3. ゆで卵は皮をむき、ちくわの穴に細長く切ったおもちをつめる。

4. すじは沸騰した湯の中に入れあくを抜き、串に刺しやすい大きさに切る。

5. ロールキャベツ：しんなりするまでゆで、ザルに広げてさます。

鶏ミンチ、小口切りしたねぎ、あらみじん切りしたきのこ、れんこん、塩、こしょう、しょうゆ、片栗粉、卵を入れ混ぜ、4個に分ける。キャベツで包む。

6. 土鍋に水、しょうゆ、砂糖、白だしで調味し味のしみにくいだいこん、こんにゃく、すじを入れ煮る。煮立ってきたら順次残りの材料も加え煮る。最後にもち入りちくわ、トマトを加える。トマトに火が通ったら上にチーズをのせ溶けたらいただく。

焼きおにぎり

白米	1 カップ	玄米は一晩水に漬けておく
玄米	1 カップ	梅干し1個入れ、やや柔らかめのご飯を炊く
・ボウルにごはんを入れ水でぬらしたすりこぎで軽くつぶしおにぎりを作る		
・しょうゆを軽く塗って、オーブンで焼く		

おぜんざい (作りやすい分量)

小豆	200 g	おもち
水	6～8 カップ	
砂糖	150～200g	
塩	少々	

1. 小豆は洗ってたっぷりの水に一晩つける。

鍋に小豆と水を入れゆでこぼす。

分量の水を入れ小豆をやわらかく煮て、砂糖、塩少々で味をととのえる。

2. 小さく切ったおもちを軽く焼く。

塩昆布入り梅昆布茶

塩昆布
梅干し昆布茶

講習会の風景

＜妊娠期 9月26日＞



＜少年期 12月19日＞



＜青年期 12月22日＞



＜壮年期 1月30日＞

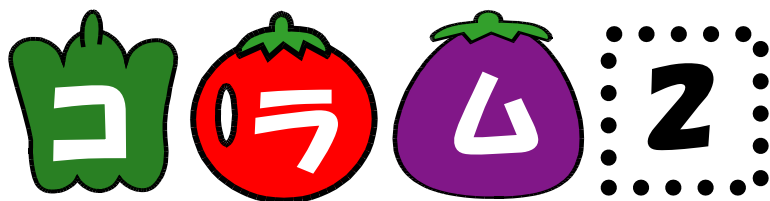


＜中年期 2月21日＞



＜高年期 3月20日＞





「ボランティアのための食の安全・安心講座」のその後



平成 20 年（2008 年）10 月に食にまつわる様々な活動を衛生的に行い、食中毒の発生を防ぐことにより、地域における食育活動を継続的にを行うことを目的に「ボランティアのための食の安全・安心講座」行いました。主に子どもを対象に活動しているボランティアを中心に、94 人の参加があり、食中毒の予防について熱心に学びました。

地域での食育活動のほか保育や教育の現場などでも、その内容をいかしてもらおうと、講座の内容や使用したテキストをもとに、平成 21 年 8 月に「食育推進のための安全・安心ハンドブックー食中毒を予防して継続的な食育活動を一」を 5000 部作成しました。

その内容の一例は…

○食中毒予防の基礎知識

手を洗いましょう

○たのしい模擬店・イベントにするために

模擬店・イベントのおすすめ料理はこれだ！

○バーベキュー、焼肉、野外での活動こんなところに気をつけて

自然を楽しむときにも気をつけましょう

○調理実習・クッキング保育をする時の注意点

安全のために守ること

○資料編

食中毒の原因となる細菌・ウイルス



豊中市では地域での食育活動が
ますます盛んになっています。

市ホームページでも閲覧できます。
ぜひご活用下さい。



事業名称

「給食おいしいね」学校給食の今と昔

新規事例

連携事例（NPO、行政）

対応するライフステージ

妊娠期

幼年期

少年期

青年期

壮年期

中年期

高年期

0歳～

6歳～

15歳～

25歳～

45歳～

65歳～

関係する分野

教育 ・ 保健

対応する大目標

- I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう
- II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう
- III おいしく、楽しく、食事をしよう

ライフ ステージ	対応する年代別目標	対応する施策の展開
幼年期	・ 家族や仲間と楽しく食事をしよう	①基本的生活習慣の大切さについての情報提供と啓発
少年期	・ 家族や仲間と楽しく食事をしよう	③学校給食センターにおける児童への支援 ⑧学校、地域、行政などとの連携による食育の推進
青年期	・ 情報を正しく理解しよう	①食に関する知識の普及・啓発や情報提供
壮年期	・ 子どもに対しての食育に取り組もう	②食に関する知識の普及・啓発
中年期	・ 食育を伝えよう、広げよう	④食育を広げやすい環境整備
高年期	・ 食に関わる経験を次世代に伝えよう	②食文化の継承の場の提供

1. 目的

今の豊中市の給食の方針、子どもたちのために気をつけていることなどを、未就学児を持つ保護者の方にも関心を持ってもらい、知ってもらうこと。

多様な世代に共通する「給食」をテーマとすることで、コラボが目指す多世代間の交流を促すこと。

2. 主催 千里文化センター市民運営会議 豊中市

3. 日程 3月26日（金）～31日（水）9:00～17:00

日 時		内 容
3月26日（金）～31日（水）	9:00～17:00	給食展展示
3月30日（火）	12:00～16:00	給食カフェ
	13:00～13:30	コンサート
	13:30～15:00	給食講座

4. 場所 千里文化センター「多目的スペース」

5. 内容詳細

●給食展展示（26日～31日、9:00～17:00）

展 示 物	所 管
給食献立表 昭和40年のものから社会の動きと関連させた給食の歴史がわかる。	学校給食課
給食に関するVTR	学校給食課
給食・食育に関するパネル	くらしかん
ランチメニューコンテスト	豊中保健所
学校給食で使われる釜・しゃく・食器の見本	学校給食課
食育推進のための安全・安心ハンドブック	健康支援室
給食マッピング 地域ごとに違っている給食の紹介。日本地図に張り付けて展示。	市民ボランティア作成

●コンサート（30日、13：00～13：30）

学校給食センターの栄養士と調理員による、給食の歌（作詞：豊島北小学校の児童、作曲：給食センター調理員）のバンドコンサート

●給食講座（30日、13：30～15：00）

子どもと保護者が一緒に楽しめるゲームを交えた講座

- ・はてな？ボックスゲーム
- ・学校栄養教諭による講話
- ・給食配膳ゲーム

●給食カフェ（30日、12：00～16：00）

給食で出されているパンと牛乳を提供。

メニュー：牛乳、コッペパン、アップルパン、レーズンパン、ツイストパン

メニュー	単価	販売数
牛乳	1本 100円	20本
パン （コッペパン、アップルパン、 レーズンパン、ツイストパン）	1個 50円	各 25個 計 50個

6. 考察

実際に参加した人から「昔の給食の展示が懐かしかった」「給食の歌はとても大事なことを伝えているのでたくさんの子に歌ってほしい」などの声が聞かれ、好評だった。

○展示の様子



学校給食献立表

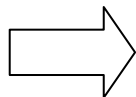


給食・食育に関するパネル



給食マッピング

参加者に子どもの頃に食べた給食を書いて貼っていただきました。
たくさんの方に参加していただきました。



ミニコンサート

生バンドコンサートに、会場が大いに盛り上がりました。



給食講座

給食〇×クイズ。答えは、はてな？
ボックスから出てきました。



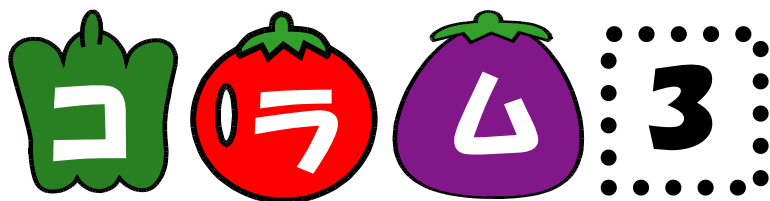
学校給食の調理に使われるしゃくで
混ぜる体験をしました。



給食カフェ

パンが特に好評で、
すぐに売り切れました。





平成 20 年度ランチメニューコンテスト入賞作品は???



平成 20 年度ランチメニューコンテストは 20 年度の年次報告書でご紹介しました。
その後も入選作品の活用は続いています。

平成 21 年 7 月には、3 作品が学校給食のメニューに登場

『やさいたっぷりセミドライカレー』

『トマトとたまねぎのコンソメスープ』

『なつやさいのペンネ』

児童のみなさんおいしかったかな？

平成 21 年 7 月 22 日～8 月 28 日に地域のお惣菜店で販売

場所：お惣菜・デリカート（服部元町）

メニュー：『鳥肉の夏野菜梅酢あんかけ』、『切り干し大根サラダ』

♪商品化された子供の声

『切り干し大根サラダ』は、野菜がたっぷりで私も好きなので作りました。食べやすく細く同じ長さに切ったのが工夫したところです。私が考えた料理がお店で販売されると聞いた時は、最初はびっくりしたけど、みんなに食べてほしいと思いました。とてもうれしかったです！！

♪商品化して下さった惣菜店・店主の声

地元の子供達に、食に関心を持って欲しいという思いがあり、子供達が考えたメニューを当店で商品化しました。小学生が考えたメニューだと説明すると、「すごい！」「じゃあ、買ってみようかしら」といったお客様の反応もありました。またメニューを考えてくれた子どもや保護者も来店され、本当に喜んで商品を購入されました。このような形で、地域の子供達への食育に貢献し、地域のお客様とのつながりが深まることは、店としても非常にうれしいことです。

今後もこのような取組みを

実施していきたいと思っています。

新聞にも掲載されました。



2 推進計画の数値目標の達成状況（意識調査）

豊中市食育推進計画の進行管理に向け、市民の意識を調査するために、平成22年（2010年）3月に食育アンケート調査を行いました。その概要についてご報告します。

□ 調査の実施状況

①幼年期（０～６歳）

対象者	平成２２年３月の離乳食講習会・幼児食講座参加者
方法	参加時に配布・回収
有効回答数	１１９件

②青年期・壮年期・中年期・高年期

（青年期：１５～２４歳、壮年期：２５～４４歳、中年期：４５～６４歳、高年期：６５歳以上）

対象者	平成２２年３月の胃がん検診・市民健康診査受診者
方法	検診時に配布・回収
有効回答数	青年期・壮年期・中年期１２９件、高年期１２２件

（参考）

豊中市食育推進計画策定のためのアンケート調査（平成１９年７～８月実施）の有効回答数

	有効回答数	対象者
幼年期	１,３５７件	・乳幼児健診対象児（４か月、１歳６か月、３歳６か月）の保護者 ・公私立幼稚園年長児、保育所・保育園年長児の保護者
少年期	１,５３８件	・小学校６年生とその保護者 ・中学校３年生とその保護者
青年期・壮年期・中年期	１,８７２件	・豊中市内在住の１５～６４歳の人
高年期	１,５８５件	・豊中市内在住の６５歳以上の人

□ アンケートまとめ

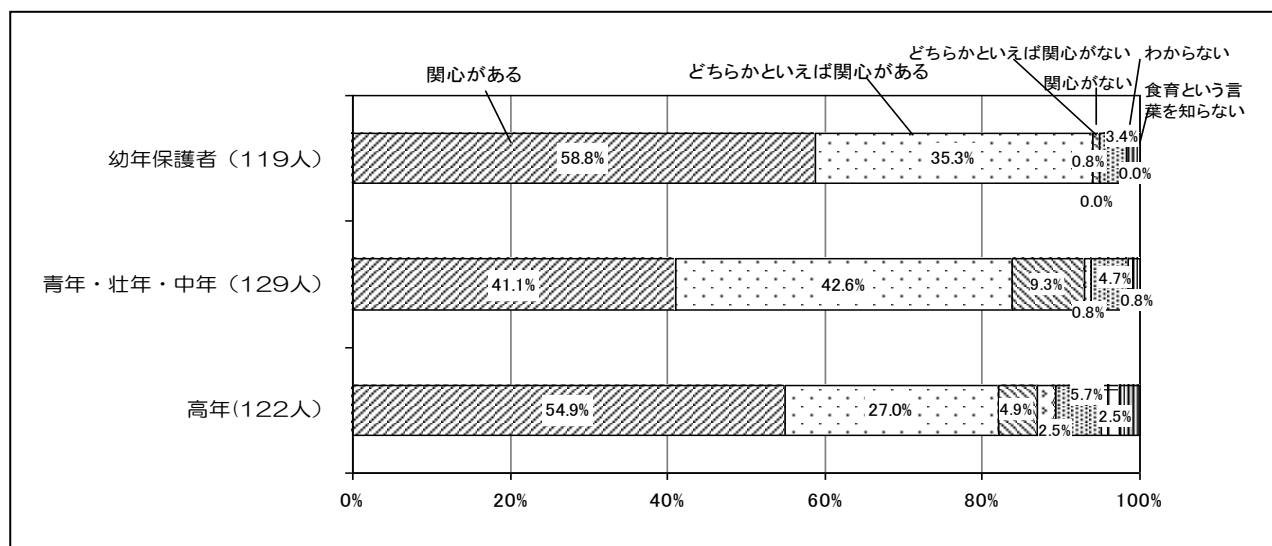
平成２１年度に大阪府北ブロック（豊中・池田・吹田・茨木・高槻保健所管内）で食事バランスガイドに関するアンケートを実施しましたので、本市では、平成２１年度食育アンケート調査の項目に同じ内容を加え参加しました。結果を分析し北ブロックのデータと比較しました。

食事バランスガイドを見た場面としては、テレビ、雑誌・本、新聞といったマスメディアが多かった一方で、「保健所や市町村での講習会や広報」「スーパーマーケット」といった、これまでの取り組みの中で情報を得た人も多く、取り組みを継続していくことがバランスガイドの周知には必要であると認識しました。食事バランスガイドの認知度が高いのに比べて活用がすすんでいないので、活用方法についてさらに情報提供に努めます。

また、平成２１年度から幼年保護者にも調査を始めた、「食べ残しを減らす努力をしている人」については「努力している人」の割合が少ない傾向がみられました。食物を育て、収穫し、調理する方法についての情報提供や、生産者との交流などにより、食べることを大切にする心を育む支援を行います。さらに、「もったいない」の心を行動に移すために、食材を有効活用する方法などについての啓発を行います。

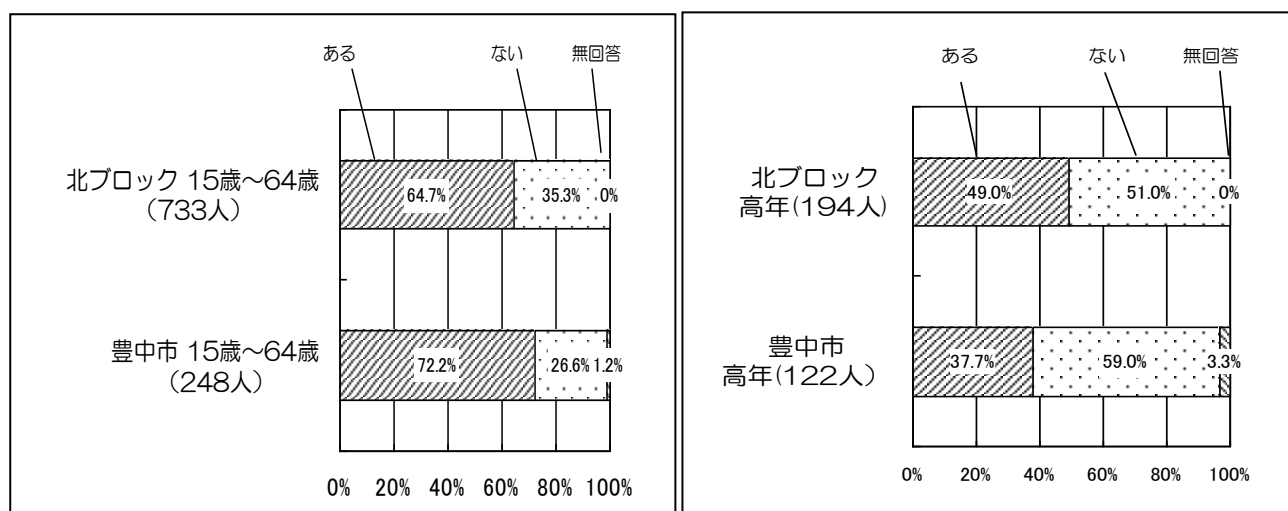
□ 食育への関心度

食育に関心を持っている人は、「食育に関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせると、幼年保護者で 94.1%（H20：95.2%）、青年・壮年・中年で 83.7%（H20：94.0%）、高年で 81.9%（H20：95.9%）となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「食育に関心を持っている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では幼年保護者 90.4%、青年・壮年・中年 85.5%、高年 71.7%でした。



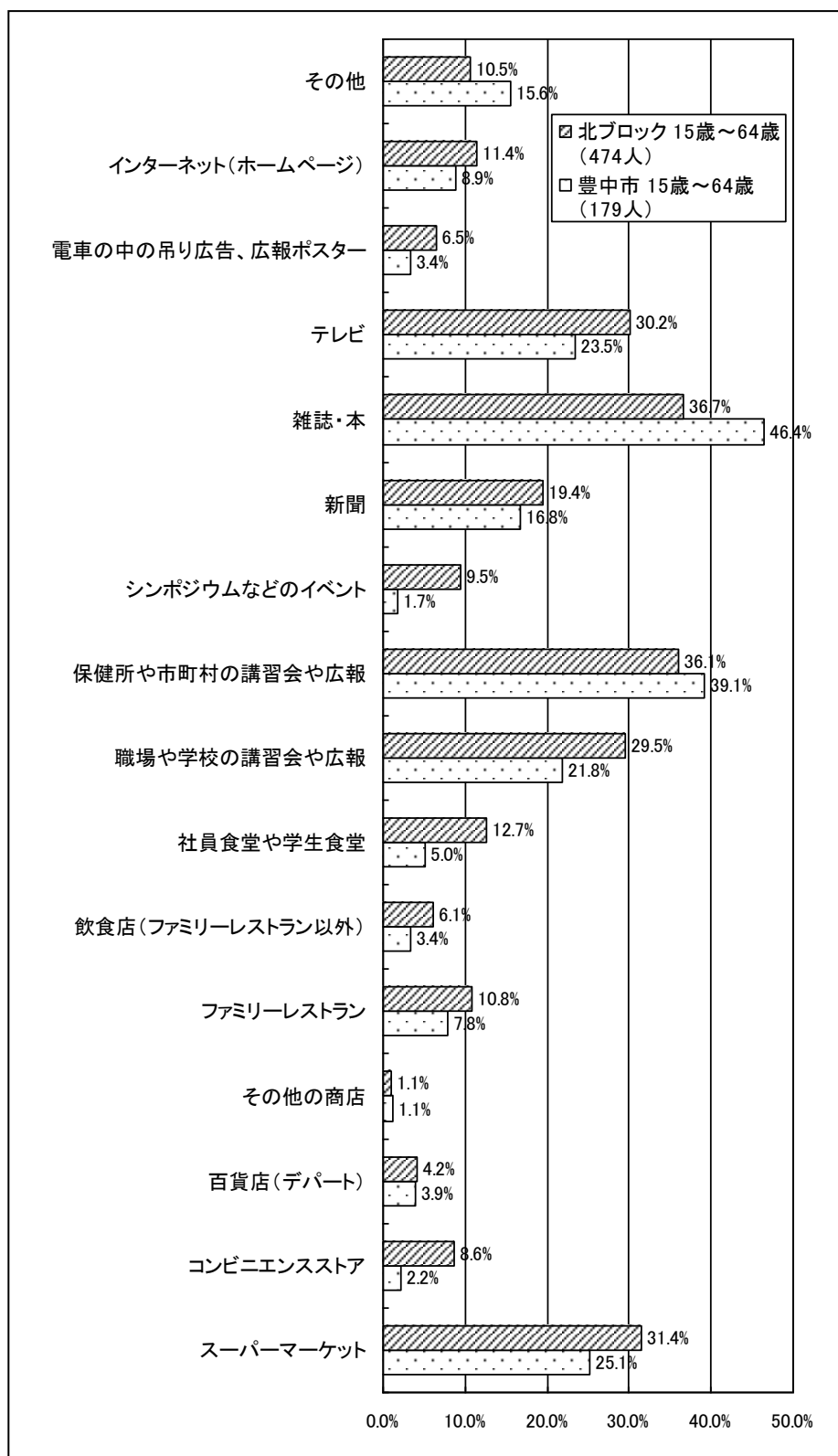
□ 食事バランスガイドの認知度

食事バランスガイドについて、北ブロックのデータと比較しました。なお対象を北ブロックに合わせて、「15歳～64歳」（「幼年保護者」を「青年・壮年・中年」に含めました）と「高年」としました。食事バランスガイドの認知度をみると、「（見たことが）ある」は15歳～64歳で 72.2%（北ブロック 64.7%）、高年で 37.7%（北ブロック 49.0%）でした。計画策定時のアンケート調査では、幼年保護者 72.0%、青年・壮年・中年 51.4%、高年 44.5%でした。

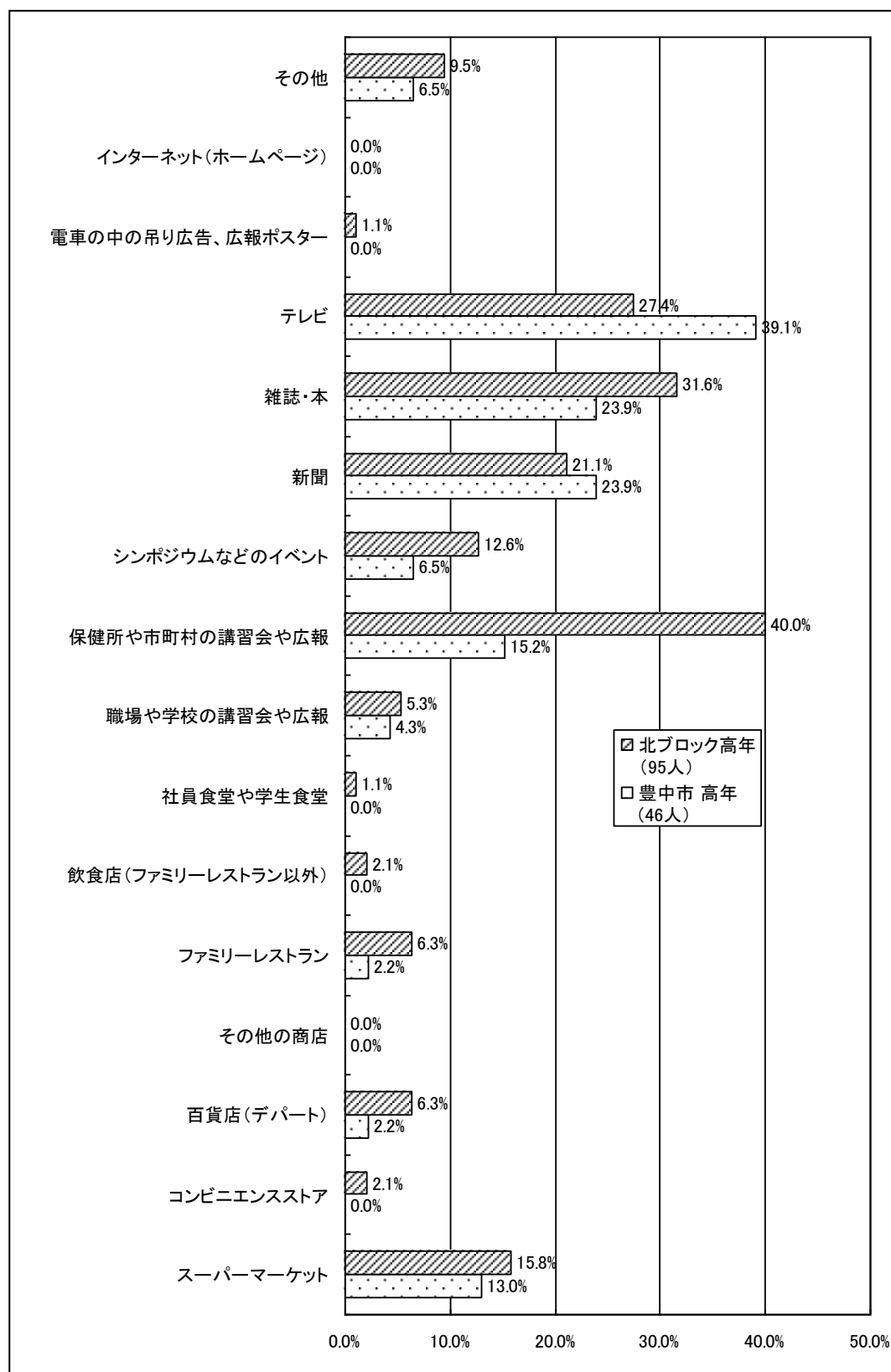


□ 食事バランスガイドを見た場所

食事バランスガイドを見たことが「ある」と答えた人に、どこで（何で）見たかお聞きしました。15歳～64歳では、「雑誌・本」（46.4%）、「保健所や市町村の講習会や広報」（39.1%）、「スーパーマーケット」（25.1%）の順に多い結果となりました。これは北ブロックも同様の順位でした。

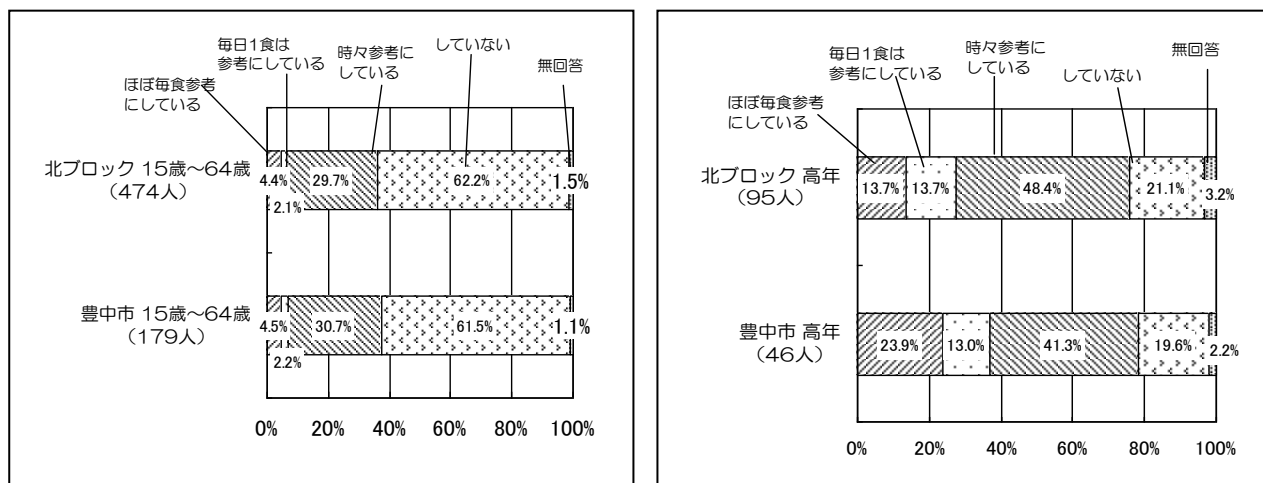


高年では、「テレビ」(39.1%)、「雑誌・本」(23.9%)、「新聞」(23.9%)の順に多い結果となりました。北ブロックでは、「保健所や市町村の講習会や広報」(40.0%)が最も多く、北ブロックとは異なる結果になっています。市・北ブロックとも、インターネット(ホームページ)は0.0%でした。高年期はインターネットで情報を得る習慣がないことがうかがわれます。



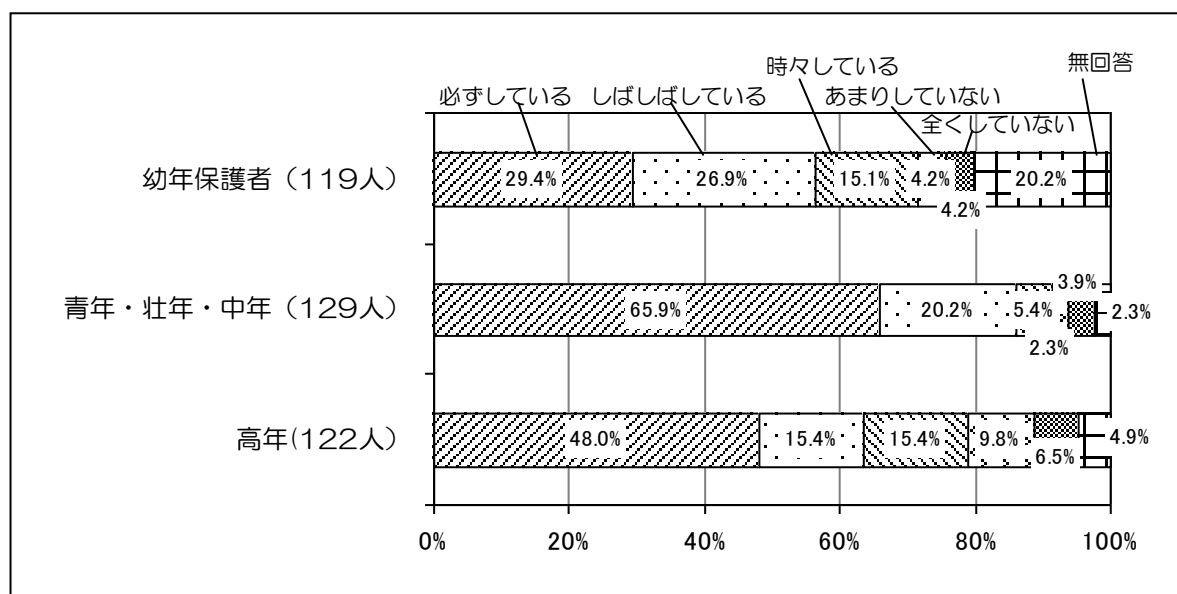
□ 食事バランスガイドの活用度

食事バランスガイドの活用度をみると、「ほぼ毎食参考にしている」と「毎日1食は参考にしている」を合わせると、15歳～64歳で6.7%、高年で36.9%でした。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「食事バランスガイドなどを参考に食生活を送っている人の増加」（「ほぼ毎食参考にしている」と「毎日1食は参考にしている」の合計）があり、24年度に60%が目標となっています。



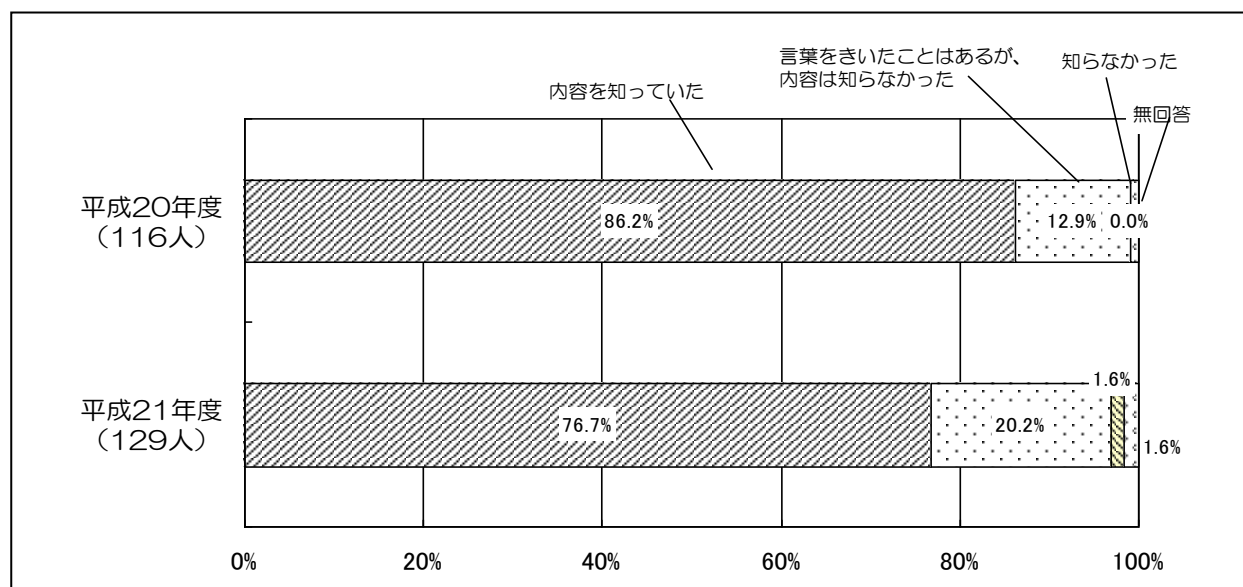
□ 食べ残しを減らす努力

食べ残しを減らす努力を「必ずしている」人をみると、青年・壮年・中年で65.9%（H20：70.7%）、高年で48.0%（H20：64.4%）となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「食べ残しを減らす努力を必ずしている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では青年・壮年・中年50.2%、高年55.3%でした。また、今回幼年保護者にも同じ質問をしたところ、食べ残しを減らす努力を「必ずしている」人は、29.4%と、他の世代に比べて低い傾向がみられました。



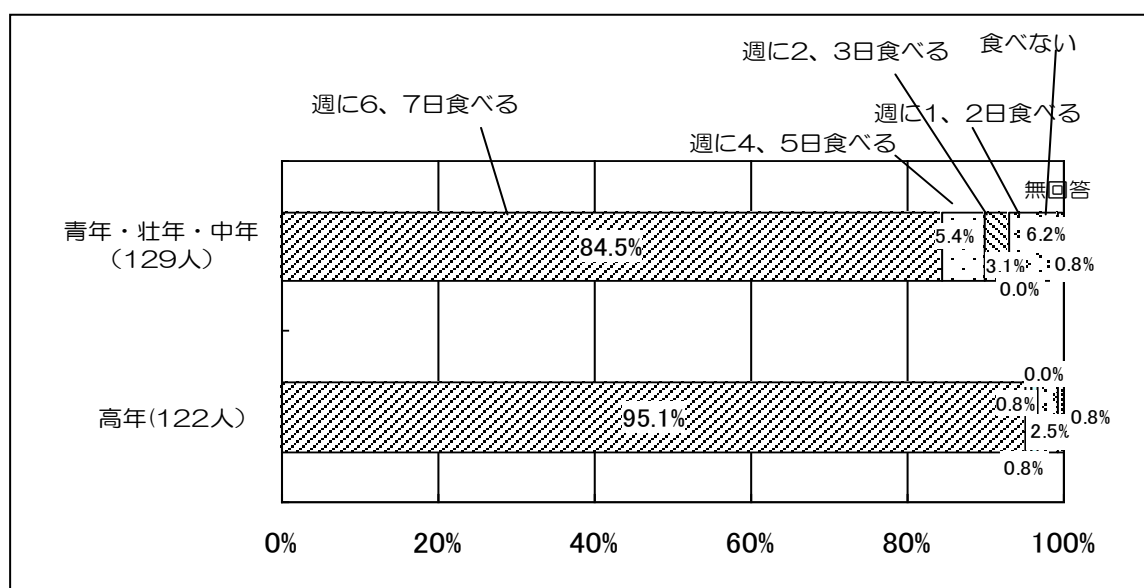
□ メタボリックシンドロームの認知度

メタボリックシンドロームの認知度をみると、「内容を知っていた」が76.7%（H20：86.2%）、「知らなかった」が1.6%（H20：0.0%）でした。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「メタボリックシンドロームを認知している人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では「内容を知っていた」が78.8%、「知らなかった」が4.0%でした。



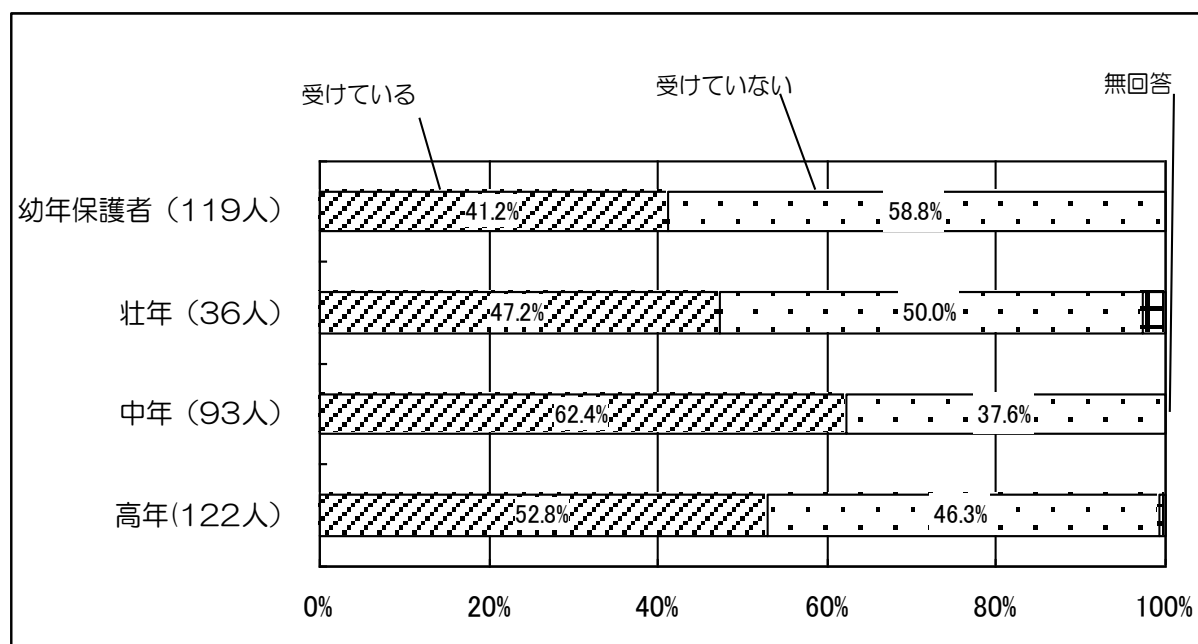
□ 朝食の摂取状況

朝食の摂取状況をみると、「週に 6、7 日食べる」は青年・壮年・中年で 84.5%（H20：87.9%）、高年で 95.1%（H20：97.3%）でした。計画策定時のアンケート調査では、青年・壮年・中年で 82.4%、高年で 93.9%でした。



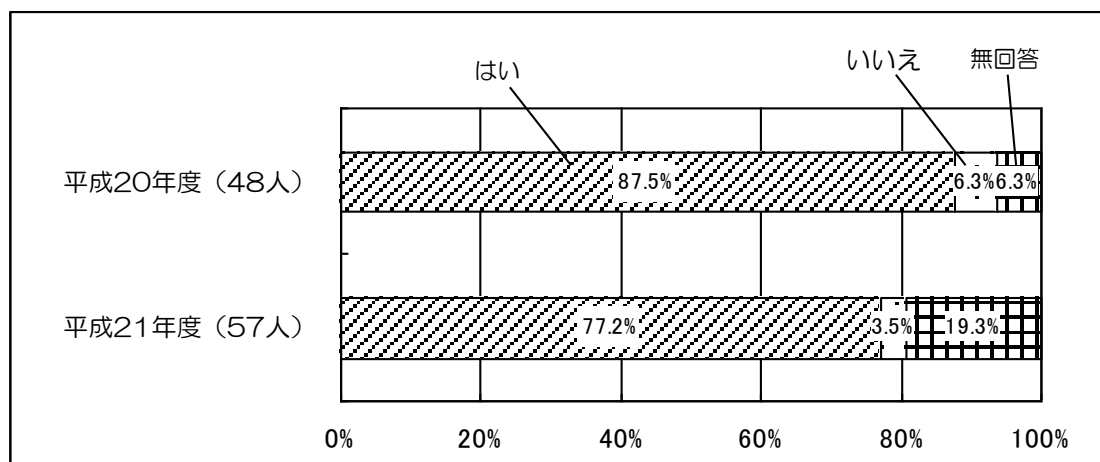
□ 定期的な歯科健診の有無

定期的な歯科健診の受診状況をみると、「受けている」は幼年保護者で41.2%（H20：36.9%）、壮年で47.2%（H20：49.3%）、中年で62.4%（H20：61.5%）、高年で52.8%（H20：72.6%）となっています。豊中市食育推進計画の数値目標のひとつに、「定期的な歯科健診を受けている人の増加」があり、計画策定時のアンケート調査では青年で28.1%、壮年で35.6%、中年で43.4%、高年で46.4%でした。



□ 子どもの噛む力にあわせた食事の心がけ

子どもの噛む力にあわせた食事を心がけているかをみると、「はい」が77.2%（H20：87.5%）、「いいえ」が3.5%（H20：6.3%）でした。計画策定時のアンケート調査では「はい」と答えた人が48.9%でした。





平成21年度食育アンケート（幼年期）

このアンケートは、食育の推進のため市民の皆様の「食育」への意識等を知るために行います。このアンケート結果は食育推進の目的以外に使うことはありません。ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

問1 「食育」に関心がありますか。【1つだけに○】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 関心がある | 2 どちらかといえば関心がある |
| 3 どちらかといえば関心がない | 4 関心がない |
| 5 わからない | |

問2 食事の望ましい組み合わせとおおよその量を示したコマ型のイラスト「食事バランスガイド」（下図）を見たことがありますか。【1つだけに○】



- | | |
|------------|----------|
| 1 ある→問3、4へ | 2 ない→問5へ |
|------------|----------|

問2で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

問3 どこで（何で）見ましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| (1) スーパーマーケット | (2) コンビニエンスストア |
| (3) 百貨店（デパート） | (4) その他の商店 |
| (5) ファミリーレストラン | (6) 飲食店（ファミリーレストラン以外） |
| (7) 社員食堂や学生食堂 | (8) 職場や学校の講習会や広報 |
| (9) 保健所や市町村の講習会や広報 | (10) シンポジウムなどのイベント |
| (11) 新聞 | (12) 雑誌・本 |
| (13) テレビ | (14) 電車の中吊り広告、広報ポスター |
| (15) インターネット（ホームページ） | (16) その他（ ） |

問4 「食事バランスガイド」を参考にしてメニューを考えたり、選んだりしていますか。【1つだけに○】

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 ほぼ毎食参考になっている | 2 毎日1食は参考になっている |
| 3 時々参考になっている | 4 していない |

問5 お子さんが食事をする時には、大人も一緒に食べますか。【1つだけに○】

- | | | |
|------|-------|------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 まだ食べていない |
|------|-------|------------|

問6 食べ残しを減らす努力をしていますか。【1つだけに○】

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1 必ずしている | 2 しばしばしている | 3 時々している |
| 4 あまりしていない | 5 全くしていない | |

問7 お子さんの噛む力にあわせた食事を心がけていますか。【1つだけに○】

- | | | |
|------|-------|------------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 まだ食べていない |
|------|-------|------------|

問8 あなたは定期的な歯科健診を受けていますか。【1つだけに○】

- | | |
|---------|----------|
| 1 受けている | 2 受けていない |
|---------|----------|

問9 あなたの年齢・性別をお答えください

____ 歳 女 ・ 男

ご協力ありがとうございました

豊中市健康福祉部健康支援室



このアンケートは、食育の推進のため市民の皆様の「食育」への意識等を知るために行います。このアンケート結果は食育推進の目的以外に使うことはありません。ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成21年度食育アンケート

問1 「食育」に関心がありますか。【1つだけに○】

青年・壮年・中年・高年期対象

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 関心がある | 2 どちらかといえば関心がある |
| 3 どちらかといえば関心がない | 4 関心がない |
| 5 わからない | 6 食育という言葉を知らない |

問2 食事の望ましい組み合わせとおおよその量を示したコマ型のイラスト「食事バランスガイド」(下図)を見たことがありますか。【1つだけに○】



- | | |
|------------|----------|
| 1 ある→問3、4へ | 2 ない→問5へ |
|------------|----------|

問2で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

問3 どこで(何で)見ましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| (1) スーパーマーケット | (2) コンビニエンスストア |
| (3) 百貨店(デパート) | (4) その他の商店 |
| (5) ファミリーレストラン | (6) 飲食店(ファミリーレストラン以外) |
| (7) 社員食堂や学生食堂 | (8) 職場や学校の講習会や広報 |
| (9) 保健所や市町村の講習会や広報 | (10) シンポジウムなどのイベント |
| (11) 新聞 | (12) 雑誌・本 |
| (13) テレビ | (14) 電車の中吊り広告、広報ポスター |
| (15) インターネット(ホームページ) | (16) その他() |

問4 「食事バランスガイド」を参考にしてメニューを考えたり、選んだりしていますか。【1つだけに○】

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 ほぼ毎食参考になっている | 2 毎日1食は参考になっている |
| 3 時々参考になっている | 4 していない |

問5 「メタボリック・シンドローム」(内臓脂肪症候群)を知っていますか。裏面参照【1つだけに○】

- | | |
|------------|--------------------------|
| 1 内容を知っていた | 2 言葉をきいたことはあるが、内容は知らなかった |
| 3 知らなかった | |

問6 朝食を食べますか。【1つだけに○】

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 週に6、7日食べる | 2 週に4、5日食べる | 3 週に2、3日食べる |
| 4 週に1、2日食べる | 5 食べない | |

問7 食べ残しを減らす努力をしていますか。【1つだけに○】

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1 必ずしている | 2 しばしばしている | 3 時々している |
| 4 あまりしていない | 5 全くしていない | |

問8 あなたは定期的な歯科健診を受けていますか。【1つだけに○】

- | | |
|---------|----------|
| 1 受けている | 2 受けていない |
|---------|----------|

問9 2人以上でお住まいの方にお聞きします。

夕食の時、家にいる人全員で食事をしますか。【1つだけに○】

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 全員で食べている | 2 全員そろわないこともある |
| 3 全員そろわないことの方が多い | 4 その他() |

問10 あなたの年齢・性別をお答えください

_____ 歳 女 ・ 男

ご協力ありがとうございました
豊中市健康福祉部健康支援室



3 各事業の進行状況

- 1、行政の取り組み
- 2、教育・保育の取り組み
- 3、地域社会の取り組み

「今後の方向性」欄の記号の見方

- ◎ → 充実：今後さらに積極的に取り組む予定
- → 継続：今後も同様に取り組む予定
- △ → 縮小：規模などを縮小して今後も取り組む予定
- → 廃止：21 年度で終了するもの
- 完 → 完了：単年度事業、期間の決まっている事業など、当初の予定どおり 21 年度で終了するもの

1. 行政の取り組み

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
1 広報とよなか	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	月1回発行。全世帯と全事業所に配布しています。市の各種施策や事業計画、福祉、環境、文化・スポーツなど市民に必要な情報を提供しています。	発行部数2,239,200部 (詳細) 食育関連お知らせ記事 年間13件 (8月号・「食の育みフォーラム21」、12月号・「子育て・子育て支援講座」など)	主に食育に関する催しの告知を実施しています。市民の参加を促すことで、食への関心を高めてもらいたい。	○
2 技術・家庭科副読本「くらしのノート」	くらしかん			●						消費者教育資料集(技術・家庭科副読本)「くらしのノート」を作成し、学校現場で活用を推進しています。豊中市食育推進計画に関する記述あり。	市内在学の小学5年生、中学1年生に配布 小学生版4,400部 中学生版4,300部発行	資料集として継続して発行していますが、教科書の内容充実に伴い、抜本改定を検討中です。	○
3 生活関連物資課題調査	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	(とよなか消費者協会に委託)食料品、日用品等の生活関連物資について、年2回テーマを決め市場調査を行っています。	年2回実施 調査内容「するめいか餅年度調査」「かつおぶしの品質表示に関する調査」等	引き続き、調査結果を情報発信し、食に関する情報を伝えていきたい。	○
4 くらしの情報	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。	A4判8頁。3,000部発行/回 点字版B5判両面20枚。11部発行/回 各年4回	食に関する情報について発信する場として活用していきたい。	○
5 情報誌等の発行	子育て支援センター		●	●						妊娠がわかってから就学前までの子育て情報を掲載した「子育てサービスガイド」、公立保育所・民間保育園・子育て支援センターの情報を掲載した子育てマップ”てくてく”を発行し、離乳食講座・食の講座の情報を提供しています。	子育てサービスガイド8,500部 ”てくてく” 25,000部	講座などの食育に関する情報を発信する場として活用していきたい。	○
6 給食の献立表と給食だよりの配布	障害福祉課					●	●	●		栄養士による食育に関する情報を掲載しています。	毎月1回	食育に関する情報を発信する場として活用していきます。	○
7 食育推進のための安全・安心ハンドブックの発行	健康支援室	*	●	●	●	●	●	●	●	食にまつわる様々な活動を衛生的に行ない、食中毒発生を防ぐことにより、地域における食育活動を継続的に行うことを目的としたハンドブックを発行しました。	5,000部発行 関係機関・団体・個人に2,626部配布	地域のお祭り等で活用していただきました。残部は今後も配布していきます。	完

(1. 行政の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
映像	8 ケーブルテレビ番組「かたらいブラザ」	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	市広報番組「かたらいブラザ」を企画・制作し、ケーブルテレビで放送しています。	年間52本放送 (詳細) 5月放送なんでも調査隊 「食育推進計画、キャラクター レース、シンボルマーク募集」 6月放送特集 「みんなで考える食育」	食育だけでなく健やか親子21に関する情報を発信しています。今後も定期的に番組で取り上げ、食や生活リズムについての理解を深めてもらいたい。	○
	9 くらしかんのホームページ	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	平成14年度に生活情報関連システム(くらしネット)を大幅に見直し、くらしかんホームページにくらしネットにより、消費生活情報を提供しています。	平成20年度より市ホームページの一部に入り形式がリニューアルしましたが、引き続き消費生活情報を提供しています。	食に関する情報について発信する場として活用していきたい。	○
	10 子育て支援ホームページの充実	子育て支援センター		●	●	●	●	●	●	●	豊中市ホームページにおいて、子育てに関するさまざまな情報を公開するとともに、最新情報を定期的に更新しています。	各センター月1回更新	講座などの食育に関する情報を発信する場として活用していきたい。また豊中市公式携帯サイトからも情報発信していきたい。	◎
図書	11 ふくしねっと とよなか	地域福祉課 社会福祉協議会		●	●	●	●	●	●	●	豊中市の福祉や健康に関する行政サービス情報をはじめ、ボランティアなどの地域福祉活動情報、介護保険や福祉関連の民間事業者情報などを市のホームページに掲載しています。	平成21年度アクセス数 293,697	市民への情報提供の場として、継続する必要があります。	○
	12 ホームページ「健康食生活応援」	健康支援室		●	●	●	●	●	●	●	健康づくりを支援する環境づくりを目的に平成18年6月に立ち上げ、生活習慣病予防のためのメニューの提供等を行っています。	食育に関する講座等のご案内を随時行ないました。	食に関する情報を発信する場として活用していきます。	○
	13 くらしのライブラリー	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	食に関する図書・ビデオ等の閲覧・貸出を行っています。	平成21年度をもって事業終了	常に最新の情報をビデオや図書で提供していくことが困難であるため、講座を通じてその時の最新情報を正しく正確に提供していきます。	—
	14 関連資料提供、読書振興	岡町図書館		●	●	●	●	●	●	●	①食育に関する図書や資料・情報の収集と提供・相談を行っています。 ②食育への関心を深めていくため関連資料の展示などを行っています。	随時実施	乳幼児から高齢者まで幅広い世代に対する資料の提供ができます。継続して取り組みをおこないます。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
相談 対応・指導	15 教育相談・支援事業	豊中人権ま ちづくりセ ンター			●	●					①子どもに関する相談全般を行っている す。 ②学校、家庭、地域における生活の相談 事の解決を支援しています。	教育相談 248回 子育て相談 882回 計 1,541人	食に関することも含め、 幅広い相談支援を行って います。	○
	16 福祉なんでも相談窓口	地域福祉課		●	●	●	●	●	●	●	(社会福祉協議会に委託) 校区の福祉委員会と民生・児童委員が連 携して「福祉なんでも相談」を実施して います。	平成22年4月現在36か所にて開 設	各校区の相談窓口として 今後も必要です。	○
	17 給食時の指導	障害福祉課					●	●	●	●	栄養バランスのとれた食事を提供す ること、生活習慣病の予防に努めていま す。	毎日実施	給食から栄養バランスの とれた食事を実感するこ とができます。	○
	18 グループホーム・ケアホー ムでの相談	障害福祉課					●	●	●	●	共同生活を行う住居で、相談や入浴、排 泄、食事等生活上の援助や介護などを 行っています。	毎日実施 世話人対象講話1回15人 世話人対象調理実習1回15人	規則正しい食生活を送る ことができます。	○
	19 障害者通所施設、生活介護 事業所での食事提供時に ける情報提供	障害福祉課					●	●	●	●	専門職員が個々人の障害に応じた工夫を すると共に、その内容を家族に情報提供 すること、摂取する食材や食事を楽し むことができる場面の多様化を促してい ます。	毎日実施 保護者対象給食試食会1回5人	食育に関する情報や、食 の大切さを伝えること で、生活習慣病などを予 防し、健康を維持するこ とができます。	○
	20 母子健康手帳交付時の指導	健康支援室		●							母子健康手帳交付時において、食に関す る知識の普及や相談に応じています。	母子健康手帳3,745件交付中、 3,412件指導。	個別の状況に合わせた指 導や助言の機会となっ ています。食育の目標に合 致しており、食育推進に 活用できる機会です。	○
	21 妊産婦・乳幼児電話相談	健康支援室		●	●						①妊産婦・乳幼児の保護者等の電話によ る相談に対して、保健師、栄養士、歯科 衛生士、助産師等が相談に応じていま す。 ②健診後に育児状況など確認が必要と思 われる対象者に対し保健師等から電話に よる保健指導を行っています。	延べ6,126人。	個別の状況に合わせた指 導や助言の機会となっ ています。食育の目標に合 致しており、食育推進に 活用できる機会です。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
相談 対 応 ・ 指 導	22 育児相談 健康支援室			●						①各健診や電話相談などで相談を希望したり、必要と思われる対象者に案内し、3会場で1～2回/月ずつ実施。 保健師・栄養士・保育士が相談にのじます。 ②地域の校区福祉委員会や保育所などと連携した地区育児相を実施しています。	①育児相談 開催回数 49回 参加者数 延べ281人 ②地区育児相談 開催回数 147回 参加者数 延べ948人	個別の状況に合わせた指導や助言の機会となっております。食育の目標に合致しており、食育推進に活用できる機会です。	○
	23 アレルギー講演会 健康支援室			●	●	●	●			専門医師がぜん息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患について講話を行なっています。また必要に応じて保健指導を行っています。	開催回数 3回 参加者数 延べ75人	アレルギーに関する基礎知識を普及する場となっています。受講者数が減少傾向にて、受講者を増やす工夫が必要です。	○
	24 健康相談 健康支援室			●	●	●	●	●	●	生活習慣病予防・介護予防・歯・栄養・心など健康に関する相談に電話や面接で応じています。 ①面接相談（糖尿病、病態別食生活、歯科、リハビリ相談など） ②電話相談	実施回数 3,742回 実施人数 10,712人	健康に関する相談において食育は常に付随しています。健康保持増進にむき適切な情報提供を行っています。いく必要があります。	○
	25 1歳8か月のひかりちゃん 歯科相談 ○「2歳のこりちゃん歯科健診」 ○「パパ・ママ歯科相談」 健康支援室			●	●	●	●			1歳6か月児健診の結果ハイリスクと判定された幼児とその保護者を対象に、個別相談や健診を、3会場で実施しています。	①ひかりちゃん 24回1,102人 ②にこりちゃん 24回1,042人 ③パパママ歯科相談 24回205人	食育推進の目標に沿った内容の事業を行っています。	○
	26 妊産婦・乳幼児訪問指導 健康支援室		●	●						必要と認められた人に対し保健師または助産師・栄養士等が家庭訪問を行い、個々の状態に応じた保健指導や必要な援助を行っています。	訪問件数 延べ3,512人	食育の目標に合致した指導・助言を行っています。	○
	27 4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診時の保健指導 健康支援室			●						①4か月児健診では、第1子に対して離乳食などについて集団指導を実施しています。また、栄養士や保健師などによる個別の相談や保健指導も行なっています。 ②1歳6か月児健診及び3歳6か月児健診では、栄養士や保健師などが相談や保健指導を行っています。	①4か月児健康診査 開催回数 48回 受診者数 3,348人 ②1歳6か月健康診査 開催回数 48回 受診者数 3,341人 ③3歳6か月健康診査 開催回数 30回 受診者数 3,032人	食育の目標に合致した指導・助言を行っています。健診の受診率が高いことから、食育推進のために活用できる場と考えます。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
相談 対応・指導	28	歯科健診時の保健指導			●		●	●			歯科医師や歯科衛生士による相談や保健指導を行っています。	随時実施	食をよえるお口の健康の維持増進に効果があり、継続の必要性があります。	○
	29	骨粗しょう症検査時の保健指導				●	●	●	●	●	18歳以上の女性を対象に、骨密度測定（集団検診）を行っています。 ○超音波によるかとの測定	10回 925人受診	若年層で未受診の人に働きかけたい。	○
	30	訪問指導					●	●	●	●	保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・栄養士が家庭を訪問し、介護や療養方法、健康管理に必要な事項を指導しています。	実人数125人、延べ人数663人	寝たきり、閉じこもり、介護家族に対する訪問が多くなる現状があり、食に関する問題は常に付随しています。健康保持・増進に向け必要な援助を行っていきます。	○
	31	口腔ケア訪問			●	●	●	●	●	●	歯科衛生士が訪問し、要介護者やその家族、介護スタッフ等に歯科保健に関する知識や手法を説明・指導します。	実人数31人、延べ494人実施	要介護状態の方の食を支えるお口の健康づくりについては見過ごされがちであり、今後ニーズに即して対応してゆく必要性があります。	○
	32	骨密度測定時の保健指導					●	●	●	●	健康展参加市民を対象に、市民が自己の健康管理をするための支援として骨密度測定及び保健師による指導を実施しています。	開催回数 1回 参加者数 217人	市民が自己の健康管理をするための支援ができます。	○
	33	人間ドック受診時の保健指導						●	●	●	人間ドック受診対象者（20年度より30歳以上74歳以下）に対し、医療機関が個別指導を実施しています。	人間ドック 1,314人 脳ドック 104人 セット（人間ドック＋脳ドック） 1,181人	医療機関が個別指導をすることによって疾病の予防、健康管理ができます。	○
	34	特定健診					●	●	●	●	平成20年度より医療保険者に、被保険者及び被扶養者（いずれも40歳～74歳）を対象とする健診・保健指導の実施が義務付けされました。	個別健診 14,146人 集団健診 1,838人 人間ドック 1,845人	受診率向上に取り組みます。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
相談 対 応 ・ 指 導	35 特定保健指導	健康支援室					●			●	特定健診を受診した結果、メタボリックシンドロームやその他の予備群と判定した人に対して、生活習慣を振り返り、その改善につなげるための特定保健指導を実施しています。	参加者数 465人 動機づけ支援 411人 積極的支援 54人	参加数は増加傾向。食事などの生活習慣をかえる支援を継続していく必要があります。	◎
	36 子育てつどいの広場事業での相談	子育て支援課			●						つどいの広場において、乳幼児を持つ親とその子どもが集う場所の提供や育児相談などを実施し、地域の子育て支援の充実をはかっています。「あっぱるガーデン」で伝承野菜・草花栽培・収穫などもしています。(特活) 大阪国際文化協会に委託)	利用人数延べ5,159人 あっぱるガーデンでのイベントについては、ゴーヤを題材にエコーライフを提唱することも行いました。	「あっぱるガーデン」によって、草花、野菜の栽培に関心を持つ親子は多い。自宅の近くでプランターや畑に野菜を育てる人もいました。食育の役割を果たしています。	○
	37 放課後こどもクラブでの指導	子育て支援課				●					放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の市立小学校の1年生から3年生(支援学級在籍の児童及び本市に居住する支援学校在籍の児童は6年生)までの児童の健全育成をはかっています。	三季休業期間中(春・夏・冬休み)の昼食(弁当)及び毎日のおやつ時に手洗い着席等の指導を行っています。	生活リズムを整えるとともに、食事前の手洗い、食事中の着席等の習慣づけを行っています。	○
	38 育児支援家庭訪問事業	子育て支援センター			●						児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めて行くことが困難な状況にある家庭に対して、家庭に訪問し育児に関する相談や助言等の支援を行っています。	訪問件数 63件106回	食育に関する質問、相談があった場合に随時対応し、食育に関する正しい情報を理解してもらう場としています。	○
	39 子育て支援センターの相談事業	子育て支援センター			●						育児、食育、健康などについての相談指導(電話・面接・訪問、出前相談)を子育て支援センター・地域支援保育士が行っています。	相談内容件数 15,945件	食育に関する質問、相談があった場合に随時対応し、食育に関する正しい情報を理解してもらう場としています。	○
	40 子育て心の悩み相談事業	こども家庭相談室			●						子育ての悩みや不安、子どもの心身の発達に関する相談を受け、必要な場合は支援サービスにつなぐための調整を行っています。	230件	食育に関する質問、相談があった場合に随時対応し、食育に関する正しい情報を理解してもらう場としています。	○
	41 こんにちは赤ちゃん事業	子育て支援センター	＊		●						生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、授乳状況など親子の心身の状況の把握、および助言を行う。また、子育てに関する情報提供を行う。	訪問人数 3,509人	離乳食講座などを知らせていきます。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
相談 対 応 ・ 指 導	42 個人栄養食事指導事業	市立豊中病 院栄養管理 課		●	●	●	●	●	●	●	医師の指示による、疾病別の個人栄養食 事指導を行っています。	指導人数 1,622人	食事療法について正しい 理解をしてもらう事で、 治療の一助としてもら うようしています。	○
	43 ふれあい看護での相談事業 等	市立豊中病 院看護部		●	●	●	●	●	●	●	①看護の日イベントを行っています。 ②栄養管理課では各種生活習慣病の食事 による予防及び治療についてのパネル展 示、骨密度測定・血糖測定・体脂肪測定後 の異常値が出た方への無料栄養相談など を行っています。	開催回数 1回 相談人数 24人	各種生活習慣病に関する 相談が多く、食生活改善 に反映させてもらえるよ う相談を行っています。	○
総 合 的 情 報 提 供	44 環境情報サロンにおける情 報提供等業務	環境政策室		●	●	●	●	●	●	●	(NPO法人とよなか市民環境会議ア ジェンダ21に委託) ①環境関連の図書・雑誌の閲覧、イン ターネットを活用して環境関連情報の発 信・提供・アドハイスなど。 ②講座の開催。情報交流の場の提供。	来館者数 3,853人	環境関連情報（食に関す ること含む）の発信・提 供・アドハイスを行いま す。	○
	45 子育て支援センターほっぺ 事業	子育て支援 センター		●							①地域子育て支援センターを統括する中 核施設として、子どもの視点に立った子 ども施策の企画調整、子育て情 報の受発信や相談、子育て講座(手づく りおやつ講座)、地域の子育て支援する 人材の育成等を行い、さまざまな子育 ち・子育て支援活動をサポートしていま す。 ②地域福祉計画の保健・福祉・医療の関 係機関と連携して全体的な子育て支援の ネットワークづくりを進めています。	プレイルーム利用人数12,035 組25,608人	親子のコミュニケーション の確保や、食育に関心 をもつ効果があります。	○
	46 地域子育て支援センター事 業	子育て支援 センター		●							①6ヶ所の地域の子育て拠点施設とし て、子育て相談、情報提供、子育てサー クルの育成、遊びや交流の場の提供等 を行っています。 ②地域支援保育士とともに、「地域福祉 ネットワーク会議子ども部会」を運営、 住民や関係機関・団体との連携のもと地 域の子育てネットワークづくりに取り組 んでいます。	①地域支援センター8カ所のプレ イルーム利用人数16,264組 35,590人	親子のコミュニケーション の確保や、食育に関心 をもつ効果があります。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
47 子育て支援事業 あそびの広場	豊中人権ま ちづくりセ ンター			●	●					来館する子どもたちが菜園活動を行っています。「作る」「育てる」「食べる」をキーワードにした体験を通じ、自分の身体や生命を大切にすることを学びます。	実施回数 10回 参加者数 225人	菜園活動を楽しみにしている子どももおり、食について学ぶ機会を提供できています。	○
48 子育て支援事業 親子教室・轟レインボーク ラブ親子交流会	豊中人権ま ちづくりセ ンター			●	●					菜園活動で収穫した食材を使って調理をしながら人との交流を深めたり、会食を通じ、支えあえる仲間づくりを支援します。	実施回数 4回 参加者数 119人	様々な人と交流しながら おいしく、楽しく食事を する場となっています。	○
49 ささえあい参加型食事会	豊中人権ま ちづくりセ ンター							●	●	園芸ボランティアが育てた老人憩の家の作物や身近な食材で成人病予防等健康管 理・高齢者等の食事に配慮した調理ボラ ンティアによる調理を学び皆で会食して います。	実施回数 21回 参加者数 789人	月2回の会食を楽しみな から、調理ボランティア と地域の高齢者の交流の 場となっており、今後も 継続の必要があります。 野菜くずや残菜は堆肥と して園芸ボランティアが 活用しています。	○
50 給食	障害福祉課				●	●	●	●		①おいしく、安全に、仲間と楽しく食事を する場を提供しています。 ②季節の行事食を提供しています。	毎日実施	仲間と共に季節感のある 食事とすることで、心豊 かな生活ができます。	○
51 収穫体験	障害福祉課	＊			●	●	●	●		地域の方からの招待で、施設通所者が、 いちご・たまねぎ・じゃがいもの収穫を 体験しました。	1回 21人	食への関心を深め、地域 とのつながりを持てる量 重な体験になったと考え ます。	○
52 調理体験	障害福祉課				●	●	●	●		調理実習を体験しています。	菜園活動の収穫物によるクッキ ングなど、年間を通じて随時実 施	実際に調理に関わるこ とで食に関心を持つこと ができると考えます。	○

交流・体験機会の提供

(1. 行政の取り組み)

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
交流・体験機会の提供	53	食育スタディーツアー みんなで収穫祭			●			●			(NPO法人とよなか市民環境会議ア ジェンダ21協力) ・緑と食品のリサイクルプラザ見学と 「とよっぴー」製造の話 ・収穫体験(小松菜、青梗菜、さつまい ものつるなど) ・収穫物を調理して食事	1回 42人	アンケート結果は大変好 評でした。子どもの体力 を考慮することと、定員 を増やすことを課題とし て、22年度もよりよい形 で取り組みたい。	◎
	54	施設見学		●	●	●	●	●	●	●	市民団体等を対象に、学校給食センター や緑と食品のリサイクルプラザなどの見 学にご案内しています。	8件、総参加人数124人(うち 給食センター1件、給食センター +緑と食品のリサイクルプラザ1 件、計25人)	食育に関する施設を市民 に見学してもらおう機会と して好評なので、継続し て市民の参加を呼びかけ たい。	○
	55	「親と子の遊びのひろば」 バンダグループ			●						①2,3歳の子どもとその保護者を対象 に、人権を尊重した保育を基本に遊び提 供・情報提供を行っています。その中 で、保護者同士が子育ての楽しさを実感 し、悩みを出し合う場をもち、保育所と ともに地域の中でつながっていただける子育 て支援をしています。 ②バンダグループの中で、大勢の子ども とともに保育所の給食体験を行うことで 食事の楽しさを味わっています。	②「親と子の遊びの広場」バン ダグループ660組	栄養のバランスや一緒に 食べること(コミュニケーション)の楽しさを 伝えていきます。また、 食品の安全性に関する意 識の増進につながりま す。	○
	56	青少年野外活動事業			●	●					共同で野外活動をする中で食事を通した 交流を行いました。 ①創作キャンプ(小学3、4年) ②ジュニアサマーキャンプ(小学5、6 年) ③サイエンスキャンプ(小学3、4年) ④ファミリーキャンプ(小学生とその家 族) ⑤キャンピングスクール(小学3、4 年) ⑥サイクリング(中学生)	NPO法人豊中市青少年野外活動 協会に委託(キャンプ名:参 加人数) ①創作キャンプ:34人 ②ジュ ニアサマーキャンプ:29人 ③ サイエンスキャンプ:40人 ④ ファミリーキャンプ:28人 ⑤ キャンピングスクール:38人 ⑥サイクリング:13人	応募もあり、定例の事業 として実施したい。食事 の前の歌や準備など一緒 にすることで交流がよく 行われています。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に*印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の方向性
57	青少年自然の家主催事業 (宿泊事業)			●	●	●				小学生を対象とした野外活動事業を実施。 (9月と10月)竹で作った食器(箸、コップ)を使用したり、お祭りの夜店(おでん屋、クレープ屋など)を子どもたちで話し合って企画したりしました。	NPO法人豊中市青少年野外活動協会に委託 ①おまつりキャンプ(1泊2日) 参加者数 50人 ②わっぱはる妖怪冒険キャンプ(1泊2日) 参加者数 35人	平成22年度から、青少年自然の家指定管理者として指定した、NPO法人豊中市青少年野外活動協会に移管した形で継続実施。	◎
58	青少年自然の家主催事業 (日帰り事業)			●	●	●	●	●	●	日帰りで気軽に野外での創作活動、自然体験活動に参加できる事業を実施。(5月と11月)冷蔵庫を使わないアイスクリーム作りや、たき火料理を行いました。	NPO法人豊中市青少年野外活動協会に委託 ①初夏の里山オーブンフェスタ(日帰り、2日) 延べ参加者数 257人 ②里山の秋オーブンフェスタ(日帰り、2日) 延べ参加者数 262人	平成22年度から、青少年自然の家指定管理者として指定した、NPO法人豊中市青少年野外活動協会に移管した形で継続実施。	◎
59	三世代交流事業			●	●			●		協働事業としてNPO法人シニア自然大と高齢介護課と共催	参加人数(小学生と家族のみの数) ①春の野山は楽しいな 32人 ②初夏の里山で昆虫と遊ぼう 31人 ③みんなであそび川遊び 34人 ④秋空のもとみんなであそぼう 27人	小学生とその家族としておおむね60歳以上のシニアの方との食事を通して交流が図られています。	○
60	青少年自然の家における給食の提供			●	●	●	●	●	●	青少年自然の家で給食の提供を行っています。	給食利用団体数 132団体	平成22年度から、青少年自然の家指定管理者として指定した、NPO法人豊中市青少年野外活動協会に移管した形で継続実施。	○
61	地域教育協議会(すこやかネット)		●	●	●	●	●	●	●	中学校区を単位として、料理講習会を様々な世代が関わりながら実施したり、食をテーマにした講演会等の開催を通じて、世代をつなぐ事業を展開しています。	中学校区を単位として稲作体験やフェスタの中で食につながる取組みを行いました。	食育に関する講演会等の取組みが今年度も予定されており、世代をつなぐ事業の1テーマとして、今後も活用していきます。	○
62	地域子ども教室			●						小学校区を単位として、小学生が地域の人から料理や食文化について講義を受けるなど、学校では学べない様々なことを交わら学びます。	小学校区を単位として小学生が地域の大人から料理や食文化についての講義を受けるなど、学校では学べない様々なことを交わら学びました。	子どもたちへの啓発に一定の効果があり、今後も活用していきます。	○

交流・体験機会の提供

(1. 行政の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
交流・体験機会の提供	63 市民農園	農業委員会				●	●	●	●	●	①募集から軒旋、契約事務 ②若情処理 ③栽培講習会 ④運賃費助成事務等 ①～④の事業推進による農地の活用及び都市農業・食育の啓発をはかっています。	1区画約15㎡を23ヵ月利用 29農園 1,264区画	住民ニーズの把握に努めるとともに、農園開設者と協議をしながら、利用しやすい農園になるよう努めます。	○
	64 青少年学習活動推進事業 学習機会提供事業	豊中人権まちづくりセンター			●						轟しインボーククラブや、春・夏休みに「ルン・ルクワク教室」でお菓子作りを行っています。色んな食材に触れ、栄養価や調理法を友達と楽しみながら学びます。	おかしづくり教室 実施回数 11回 参加者数 220人	季節の食材の栄養価を学び、身体に良いおかしづくりを行っており、子どもたちの関心も高いです。	○
各種料理教室・講演会・イベント	65 とよなか市民環境展	環境政策室、市民環境会議アジェンダ21		●	●	●	●	●	●	●	(豊中市教委・とよなか市民環境会議・NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21と共催) 市民、事業者、行政の環境問題解決に向けた取り組みの発表・交流の場。概ね、12月第1もしくは第2週に実施しています。	とよなか市民環境展2009「25%! 未来を変える一歩に」 参加者数 3,300人	環境問題解決に向けての取り組みの発表・交流の場であるとともに、市民環境展において、市民の食に関する取り組みについても発表・交流を行います。	○
	66 環境学習の推進	環境政策室		●	●	●	●	●	●	●	①平成16年6月28日設置した環境情報サロンの運営。 ②交通環境学習の実施 ③市民・事業者などが環境への理解を深め、環境に配慮した生活行動や事業活動を行うための支援。 ④環境総合情報システムの学習情報の更新。 などを行っています。	環境フォーラム2009の開催 参加者数 86人 ②10校2～6年1,300人 実施内容(クルマ大集合、エコクイズ大会、出前授業、施設見学) ③各団体の要請により出前講座を実施	環境問題解決に向けて、次世代への教育を行うことによって学校から家庭・地域への普及啓発として実施しています。	○
	67 エコクッキング	減量推進課					●	●	●	●	料理にかかるすべての事柄のムダを思いつく限り省く「もったいない」活動を実践していきます。	21年度は、未実施	—	○
	68 くらしかん祭り	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	①消費者問題等を楽しく学んでもらうことを目的に毎年統一テーマを決め、様々な催しをくらしかん全体で行う消費啓発イベントを開催しています。 ②平成10年度からくらしかん登録グループとともに実行委員会体制で企画運営をしています。	協力団体 18団体 (くらしかん登録グループを除く) 参加者数 1,507人	食に関するブースも設けているので、食育を推進していきたい。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
69	子どもの消費者教育講座	くらしかん			●						小学生対象の消費者問題啓発講座の中で食に関する講座を実施しています。	20回実施。内1回は、親子でクッキングを中央公民館と共催し、食育の推進を図った。	子ども向け料理実習については引き続き実施予定です。	○
70	くらしの教員セミナー	くらしかん					●	●	●		小中学校技術家庭科教員対象の消費者問題啓発講座（年2回）を実施しています。	「人の味覚と食文化から学ぶ食育」、「食品工場の見学から加工食品の製造過程を学ぶ」の2回実施。	子どもに近い教員向けに引き続き実施していきます。	○
71	消費者啓発講座	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	①くらしの専門講座：一つのテーマを様々な角度から専門的に学ぶシリーズ講座。 ②くらしの一日講座：消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ③消費者月間行事：消費者月間の5月に内閣府の統一テーマに沿って行う啓発事業として食に関する講座を開催しています。	①専門講座 2回 ②一日講座 5回 ③月間行事 1回	食べることや食べるものの、食生活全般に関する講座を実施していく。平成22年5月には、食品表示に関する講座やパネル展を重点的におこないます。	◎
72	くらしの研究発表会	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	くらしに関する問題について、調査・研究をしている消費者グループなどに発表の機会の提供を毎年行っています。	発表団体は4グループ、くらしから提案！2009を発行	毎年実施し、食に関するテーマを扱った発表も過去にあり、引き続き実施します。	○
73	生活情報ひろば事業（市民啓発業務等）	くらしかん		●	●	●	●	●	●	●	（とよなか消費者協会に委託）平成18年8月に制定した「豊中市の消費者のくらしを守る条例」に基づいて開設した「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。	ハナレ展 3回 地産地消イベント 12回 講座 12回 「青梅を使ったレシピ紹介」 「魚の捌き方と試食」等	食に関する市民啓発や食育推進の目標に合致する内容の講座等を引き続き実施します。	◎
74	介護予防教室	高齢介護課								●	特定高齢者（要支援・要介護状態等となるおそれの高い、虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者）を対象に「運動器の機能向上」「低栄養改善」「口腔機能向上」等の介護予防教室の開催しています。	運動器の機能向上教室：22教室 人数（延べ）2497人 口腔機能の向上教室：14教室 人数（延べ）703人 栄養改善相談：3教室 人数（延べ）145人	低栄養改善は対象者が少ないため廃止。 口腔機能の向上教室の中で栄養についてフォローします。	△

各種料理教室・講演会・イベント

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 に ＊印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
75 妊婦教室「フレンドリー コース」	健康支援室		●							3拠点の保健センターにて1コース2回 実施。育児のイメージ作りや先輩ママと の交流などを目的に保健師・助産師が従 事しています。	30コース58回開催 参加者数 実 561人 延べ1,049人	妊娠・育児の基礎知識を 普及する場になっていま す。これから出産を迎え る世代に対し、食育を推 進していくいい機会と考 えます。	○
76 お父さんのための教 室	健康支援室		●							初妊婦とそのパートナーを対象に、沐浴 実習、妊婦体験、各種サービスの紹介等 を行います。隔月に1回、土曜日の 午前・午後実施しています。(大阪府 助産師会に委託、男女共同参画推進セン ターと共催で実施)	12回実施。参加者507組 延べ1,014人		○
77 カンガルークラス	健康支援室		●							栄養士による、妊娠中の食生活、栄養に ついての講話。毎月1回開催していま す。	実施回数 11回 参加者数 123人	妊娠期間だけでなく生涯を 通じた食生活について啓 発する場として、継続し ていきたい。	○
78 マタニティママのデンタル 教室	健康支援室		●							妊婦を対象に、歯科衛生士による妊娠期 からのお口の健康づくりの話を、歯みが きとデンタルフロスの実習を行っていま す。隔月に1回。	中部保健センターにて6回実施。 受講者数 73人。	妊娠期間からのお口の健康 づくりは食育推進に向け て重要であり、継続の必 要性があります。	○
79 離乳食講習会	健康支援室		●	●						離乳食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中部保健セ ンター、庄内保健センター ○回数 前期(ごっこんクラス)・後期 (かみかみクラス) 年24回ずつ実 施。	ごっこんクラス 実施回数 24 回 参加者数 907人。 かみかみクラス 実施回数 24 回 参加者数 680人	食育推進の5つの目標に 合致する内容の講話を 行っている。定員を超え る申し込みがあるので、 希望者全員が受講できる ようにしていきたい。	◎
80 幼児食講座	健康支援室		●	●						幼児食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中部保健セ ンター、庄内保健センター	実施回数 23回 参加者数 139人	幼年期だけでなく生涯を 通じた食生活について啓 発する場として、継続し ていきたい。	○
81 地区健康教室・介護教室 (出前健康教室)	健康支援室						●	●	●	健康に関するご希望のテーマを保健師、 栄養士、理学療法士、作業療法士、歯科 衛生士等が地域の会場に出向き、講演し ます。	実施回数 267回 参加者数 8,636人	食に関する情報を発信す る場として活用します。	○

各種料理教室・講演会・イベント

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
82 「やって納得！体験型健康 せミナー」	健康支援室						●	●	●	メタボリックシンドロームなど生活習慣 病予防に焦点をあてた栄養・運動につ いての気軽に楽しい体験学習。(特定保健 指導の場としても活用)	4会場で27回実施 参加者数 499人	食育推進5つの目標のうち 特にⅠⅡに合致する内 容の講話を行っている。 年々受講者も増加してい るので、実施回数や内容 をさらに充実していきたい。	◎
83 生活習慣改善講座(面接 型・通信型)	健康支援室						●	●	●	血液検査などの検査データと、生活習慣 調査票から個人の課題を抽出し、各人に あった目標を決め、実践できるよう支援 する講座を開催しています。期間は2か 月間。 ①「面接型」：健康セミナー1回・個別 面接3回・運動教室3回(希望者)。 ②「通信型」：データの分析・課題につ いてはインターネットを利用し、福岡大 学のサポートシステムを活用して抽出 し、この結果に基づいて受講者に対して 郵送等のやり取りにより指導していま す。 (特定保健指導の場としても活用)	実施回数 265回 参加者数 305人 特定保健指導の積極的支援とし ても実施	生活リズムを整え、バラ ンスのとれた食生活を実 現するために支援を継続 します。	○
84 すくすくよい歯の教室	健康支援室			●						乳幼児期の歯科保健に関する知識の普 及、啓発講話・健診)。3会場で実施 しています。予約制。13年度より内容 を見直し、1回2日制に変更しました が、15年度より、内容を維持しつつ、 受講者の利便性を考え、1回1日制に変 更しました。	千里6回、庄内6回、中部6回 計18回実施。 受講者数 985人	食育推進の目標に沿った 内容の教室を行っていま す。	◎
85 食の育みフォーラム	健康支援室	*					●	●	●	市長・市内料理店のオーナーシェフ(北 摂会よりボランティアとして参加)・市 民の代表によるインタビュージュオー 市長・北摂会オーナーシェフの豊中産農 作物をつかった調理実演と試食を行いま した。 (食育推進計画シンボルマーク・キャッ プフレーズの表彰式も同時開催)	1回 166人	定員を超える参加者で、 アンケート結果も好評で した。市庁やシェフを身 近に感じることができた という意見もありまし た。	完

各種料理教室・講演会・イベント

(1. 行政の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 ＊印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
86	子育てに関する講座等の開催	子育て支援センター		●							子育て支援センターでは親子・同年齢の子どもと一緒に子育ての楽しさを体験し、家庭でも親子のふれあう機会として知らせる「おやつ講座」を行っています。また、「センター講座」では子どもの育ちや健康・食育・かわり方について等の話を提供することで、保護者にとつての育児不安の軽減や子育てに関する情報を得る機会としています。	「おやつ講座」5回 「センター講座」での食育に関する講座6回	親子のコミュニケーションの確保や、食育に関する効果があります。	○
87	ほのぼのママ教室	市立豊中病院栄養管理課		●							ほのぼのママ教室の3回シリーズの内1回で「食事バランスガイド」による妊娠中の食品摂取の目安及び、鉄分・カルシウムの不足予防などの理解を深めています。	開催回数 12回 参加者数 133人	平成22年度よりテキストの内容を一新しました。今後さらに妊娠中の食生活について認識を深めてもらえるようにして行きたい。	◎
88	糖尿病教室	市立豊中病院栄養管理課			●		●	●	●	●	糖尿病教室の7回シリーズの内2回で「糖尿病食事療法：基礎編」「糖尿病食事療法：応用編」を開催しています。	開催回数 50回 参加者数 382人	主に入院患者に対し糖尿病に関する食事療法について講義を行っており、退院後の食事療法の継続に役立ててもらっています。	○
89	慢性腎臓病教室	市立豊中病院栄養管理課			●		●	●	●	●	慢性腎臓病教室の4回シリーズの内2回で「慢性腎臓病の食事療法の実際：総論」「慢性腎臓病の食事療法の実際：各論」を開催しています。	開催回数 6回 参加者数 100人	慢性腎臓病に関する食事療法について講義を行っており、毎回終了後に行うアンケート結果も概ね良好です。	○
90	市立豊中病院市民公開講座 健康長寿のための食事箋 ー慢性腎臓病の基礎知識ー	市立豊中病院栄養管理課 健康支援室	＊				●	●	●	●	慢性腎臓病についての基礎知識と食事療法について市立豊中病院の腎臓内科部長と管理栄養士が豊中市すこやかプラザ内にて市民対象に講演を行いました。	開催回数 1回 参加者数 62人	慢性腎臓病について専門医と管理栄養士が講演を行い、正しい食事療法に関する理解を深めました。終了後のアンケート結果も概ね良好でした。	完
91	とよなか倶楽部（糖尿病患者の会）	市立豊中病院栄養管理課			●		●	●	●	●	糖尿病患者の会の一活動として、糖尿病食の講習及び調理実習を行い、糖尿病食への理解を深めています。	開催回数 1回 参加者数 13人	医師・看護師などもメンバーとして参加しており、毎回調理実習は好評です。	○

各種料理教室・講演会・イベント

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
92	がん治療セミナー			●	●	●	●	●	●	がんサポートプログラム「がん治療セミナー」の一環として7回の内1回で「がん」と食事の関係」について理解を深めています。	開催回数 2回 参加者数 34人	代替療法などががんへの食事に関する興味が深い方が多く、定数超過となる申し込みがあります。	○
93	ライフステージに合わせた料理講習会	*	●	●	●	●	●	●	●	妊娠期、幼児期、小学生、高校生、壮年期、中年期、高年期の対象区分に分けて計7回の料理講習会を実施しました。	妊娠期 (9月 16人) 幼児期 (10月 10組) 少年期 (12月 19人) 高校生 (12月 11人) 壮年期 (1月 10人) 中年期 (2月 17人) 高年期 (3月 16人)	区分に分けての実施で、同じ世代の料理講習会だけでなく、料理講習会だけではなく、交流も出来たと感じます。また、内容も思考をこらしたものでした。中年期では、豊中保健所とも連携した事業展開を行いました。少年期に高校生のボランティアのお手伝いもありよかったです。	○
94	中央公民館まつり			●	●					桜塚高校生による、パネルシアター「こりちゃんとおひかりくんの大冒険」～お口の健康～	10月10日 (土) 10:00～10:30 高校生によるパネルシアターに、乳幼児・小学生が見ていました。	高校生の公民館事業への関わりは少なく、今回をきっかけに今後も連携をしていきたい。	○
95	健康維持と増進を目的とした「食」と「健康」に関する講座	*	●	●	●	●	●	●	●	食育の推進、生活習慣病予防・改善 介護予防のための講座・講習会を実施しています。	『乳製品の日料理教室』 (1/29)において「牛乳や乳製品」の基礎知識や健康知識の学習と合わせた調理実習の実施。 参加者数 18人 (25人申込み)	参加者からは好評で、3か月に一度程度実施してほしいとの要望もありました。今後回数・内容を充実するとともに、家庭でも応用・活用しやすい内容が提供できればと思います。	◎
96	庄内公民館講座「端午の節句は親子で満腹」			●	●		●	●		世代間交流の名目で行いました。日頃接する機会が少ないであろう親子間で料理を作ったり味わうこと、この交流の大切さを理解してもらうとともに食べることの大切さを理解してもらっています。	男 15人 女 15人	世代間交流の講座として、食育も取り入れて開催していきたい。	○

各種料理教室・講演会・イベント

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
各種料理教室・講演会・イベント													
97 男の料理教室「手打ちうどん」	庄内公民館						●	●	●	成人男性を対象、趣味を広げるきっかけ作りや、料理の楽しさを体験してもらっています。	15人	男性に料理を作る経験をしてもらい、作る楽しさを味わってもらおうと同時に食の大切さを学んでもらうことができました。	◎
98 男の料理教室「鶏料理に挑戦」	庄内公民館						●	●	●	中高年男性が料理を作る楽しさを味わってもらおうと同時に栄養も考えるきっかけとしています。	16人（定員全員）	男性に料理を作る経験をしてもらい、作る楽しさを味わってもらおうと同時に食の大切さを学んでもらうことができました。	◎
99 「子どもと本のつどい」	豊中市立図書館 豊中子ども文庫連絡会		●	●	●	●	●	●	●	「子どもと本」というテーマで年2回講演会やワークショップをしています。 21年度は子どもが心身ともに健やかに成長するためのひとつのテーマである、食生活について、テーマにとりあげました。	・講演会「食育子育てのすすめ～今、子どもに大切なこと～」 講師：坂本廣子さん ・食育パネル展示 参加者数：108人	今後も、「子どもと本」というテーマで継続していきます。食育に関しても、機会あれば取り組みたい。	○
100 農業祭	農業委員会、豊中市農業経営者協議会		●	●	●	●	●	●	●	年1回（11月の第3土曜日）、農協等と実行委員会形式で実施しています。市内で栽培された野菜や観葉植物等の即売、演芸会、もちつき大会等の実施による都市農業・食育の啓発を行っています。	参加人数 7,000人	豊中市における農業への市民の再認識の場となっています。毎年、市・JA等の負担金の見直しを実施しています。	○
101 出前教室	上下水道局経営企画課			●						小学4年生及びその保護者を対象に、水道水ができるまでの過程や、各家庭に水道水が配られる仕組みなどを、簡単な実験を行いながら説明します。 食の原点となる「水」への関心を深め、水道水が安全な飲み物であることを理解してもらおうことがねらいです。	実施校数 31校 参加者数 2,760人（児童） 〃 159人（保護者）	毎年度、市内全校（小学4年生）を対象に実施することを目標としています。	○

(1. 行政の取り組み)

講師派遣	事業等	所管	新規に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
102	出前講座	広報広聴課		●	●	●	●	●	●	●	市民（団体）や学校等が主催する、食育や生活習慣病の予防（食事編）に関する講座に、講師（市職員）を派遣しています。申込制。	全テーマ130件、総参加者数4482人（うち食育関係テーマ6件、220人）	食育に関する情報を市民に提供する機会として好評を得ており、継続して市民へ情報発信していきたい。	○
103	食育推進キャンペーン「豊中市食育推進計画シンボルマーク・キャッチフレーズ募集」	健康支援室	*	●	●	●	●	●	●	●	豊中市食育推進計画の周知のため、シンボルマーク・キャッチフレーズを募集、決定しました。	応募総数1,109作品 シンボルマーク・キャッチフレーズそれぞれについて、一般の部、児童の部より、1点ずつ採用。	予想を超える数の応募がありました。食育推進計画の周知に活用していきます。	完
104	高校生と作るお口の健康づくりパネリアタール（食育媒体作成プロジェクト）	健康支援室	*		●		●				幼児を対象にしたお口の健康づくりパネリアタールを高校生が企画・作成し、高校の文化祭や幼児対象のイベントなどで高校生が幼児に歯科保健啓発活動を実施しました。（社）豊中市歯科医師会協力）	府立桜塚高等学校文化祭、中央公民館祭り他、幼児向けイベントで計5回啓発実施。	高校生と協働し、幼児向け媒体を作成し、啓発活動を行うことは、世代間交流にもつながり、又、食育推進の目標達成の為に大切です。	◎
105	「食育月間」「食育の日」の啓発	健康支援室		●	●	●	●	●	●	●	毎年6月を食育月間、毎月19日を食育の日として啓発を行っています。	3月19日に啓発パネル展とポスター掲示を行いました。	市民の啓発に一定の効果があり、継続の必要性があります。	○
106	「食事バランスガイド」の啓発	健康支援室		●	●			●	●	●	食育講座などにより食事バランスガイドの啓発を行っています。	随時実施	「食事バランスガイド」を参考に食生活を行う人はまだ少ない状況なので、今後も啓発する必要があります。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
その他 啓発	107	給食施設への食育推進支援 豊中保健所		●	●	●	●	●	●	●	①給食施設における喫食者に対する食育推進を支援しています。 ②豊中集団給食研究会の運営を支援しています。	①給食施設指導時に喫食者の健康づくりの一環として給食の栄養管理について助言しました。 また、給食従事者・管理者向けに食中毒予防講習会を実施しました。(8/5、参加施設・人数：84施設・103人) ②各施設の給食向上、喫食者に対する食育推進・健康づくり、地域貢献といった視点で、施設間の情報交換や勉強会等の活動を行いました。 活動回数：15回、延べ参加施設・人数：151施設・159人	給食から発信する健康づくりの充実を目指して、給食管理等のサポートを行う必要性があります。	○
	108	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発 豊中保健所		●	●	●	●	●	●	●	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及を するために、駅前マップを活用し、健康づくりに協力してくれる飲食店・惣菜店のPRを行いました。 また、地域の子ども達考えた料理コンテスト入賞作品を商品化することで、応援団の店が地域住民の健康応援と同時に、子ども達への食育にも貢献しました。 ・新報承認店舗 33店舗 ・累計店舗数 401店舗 (H22.3) ・市民への啓発・・・商店街夏祭り(7/26)、体育の日イベント(10/12) ・地域の子ども達への食育支援 →小学生メニューコンテストの入賞作品を商品化(3店舗、延べ5メニュー) ・ヘルシーメニューコンテストへの応募(3店舗、5メニュー)	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。	○	

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
食品廃棄物・地産地消	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アシエンダ21・花と緑のネットワーク		●	●	●	●	●	●	●	①学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しに、公園や街路樹から出る剪定枝をチップ化したものを混合し堆肥化しています。できあがった堆肥（とよっぴー）は土壌改良材として、市内等の農地、公園や緑地、学校・保育所、各種イベントなどで配布・頒布しています。 ②豊中市内の農家の協力をいただき、「とよっぴー」を使って育てた野草等を学校給食の食材に提供する、地産地消の取り組みを行っています。 ③野菜の植え付け・収穫などの体験型学習及び小学校等に出向いて野菜作りや資源循環等について話をする環境教育を実施しています。 ④市内外からの堆肥化施設の見学者を受け入れています。 ⑤家庭での生ごみ発生抑制等を目的に、堆肥化講習会や野菜作りについての講習会を実施しています。	①堆肥（とよっぴー）の配布・頒布：約123トン ②学校給食への食材提供：31回、9種類 ③体験型学習及び講座型環境学習：53回、3,451人 ④見学・視察対応：33回、945人 ⑤堆肥化講習会及び野菜作り講習会：22回、193人	①食べ残し・調理くずの増加に伴い、剪定枝チップの投入も増やすことで、堆肥の製造量も増加しました。 ②学校給食への食材の提供は、年々増加傾向にあります。 ③一部有料にしたこともあり、とよっぴー農園での体験型学習は減少傾向にあります。小学校等での学習の機会は増加しています。 ④単純な見学より農体験と連動して施設を見学していただく機会が増加しています。 ⑤定期的な開催に加え、保育所などで実演を交えた講習会を実施しました。	○
	市民公益活動推進のための情報提供	コミュニケーション政策室、NPO法人とよなか市民活動ネットワーク	●	●	●	●	●	●	●	(運営は、公募により市民公益活動団体に委託)「市民活動情報サロン」(豊中駅舎内)にて、市民の自主的・自発的な社会貢献活動(市民公益活動)に関する情報提供や相談等を実施しています。	平成21年度市民活動情報サロン来場者数4,867人	市民公益活動の推進のため、市民公益活動に関する情報提供・相談等については、今後も継続的に取り組みが必要があります。	○
	市民公益活動推進助成金	コミュニケーション政策室	●	●	●	●	●	●	●	分野を問わず、公募し、市民公益活動事業に必要な経費の一部を助成。市民公益活動団体の自主的・継続的な発展を支援することにより、市内の市民公益活動全体の推進を図る制度です。	21年度助成金交付団体数16団体 助成額 計2,187千円	応募件数は増加傾向にあり、市民公益活動団体の自主的・継続的な発展の支援につながっている。今後も継続的な取り組みが必要。	○
	市民による環境活動への支援(豊中アシエンダ21の普及・促進)	環境政策室	●	●	●	●	●	●	●	「とよなか市民環境会議」の事務局として、ネットワーク組織としての活動、なほびに構成団体である市民団体・事業者が主体的に取組む環境活動を促進する。また、「豊中アシエンダ21」の推進組織である「NPO法人とよなか市民環境会議アシエンダ21」が主体的に行う普及・啓発活動や実践活動を支援しています。	とよなか市民環境会議総会の開催 参加者数：158人 とよなかエコ市民賞表彰式の開催 参加者数：89人	行動提案の一つとして「食育」を取り上げられている「豊中アシエンダ21」の普及・促進に努めます。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内容	21年度実施状況	考察	今後の 方向性
市民による自主的活動への支援													
113	消費者活動の支援					●	●	●	●	消費者団体について、登録制を実施し、定例会の運営や事業（リサイクルバザー・くらしかん祭り・講座等）を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っています。また、使用申込を一般申込の2か月前から3か月前に優遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っています。	登録グループ11団体		○
114	健康づくり推進員会への支援		●	●	●	●	●	●	●	活動への交付金の支払、講師派遣、活動情報の提供などを行っています。	地域での活動のヒントになるよう、市の食育事業（食育フォーラム、お口の健康づくりパネルシアター等）を、会の集まりで紹介しました。	機会あることに情報提供を行っています。	○
115	子育てサークルの育成			●						「ほっぺクラブ」は地域の人材を活用し子育てボランティアの育成・支援を行い、その力を地域に広げています。	手作りおやつ講座を2回実施。それに向けて、ボランティア団体「オリーブの会」が講座の内容を検討する。参加者は28組64人。	イモ掘り体験で、収穫したサツマイモを使うなど、いろんな食材に触れる機会となりました。	○
116	豊中市こども会連合会の育成				●					（市内の各地域で活動しているこども会（単位こども会）が集まって、組織している豊中市こども会連合会に事業委託）こども会活動事業で軽食の提供や食事を通じた交流を行っています。・こども会カーニバル（5月）・豊中市・鳴門市こども会交歓会（7月）・こども会連合会キャンプ（8月）を実施しました。	こども会カーニバル：延べ参加者数386人 豊中市・鳴門市こども会交歓会：参加者数19人 市こども会連合会：計3回 延べ参加者数75人	キャンプなどを通して、食事の前の歌や準備など一緒にすることで交流がよく行われています。	○
117	子どもセミナー・家庭教育セミナー講師謝礼金助成事業			●	●	●				学校や地域で行われる、青少年の健全育成をテーマとするセミナー等に関して、講師の謝礼金を助成しています。 ①子どもセミナー：子ども向けプログラム ②家庭教育セミナー：おとな向けプログラム	・子どもセミナー講師謝礼金助成：計15回 参加者数2,421人 ・家庭教育セミナー講師謝礼金助成：計15回 参加者数1,454人 （実施テーマに食育含む）	家庭教育セミナーでは食育を主としたテーマが1件挙げられています。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等		所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
市民による自主的活動への支援	118	公民館登録グループ活動支援		●	●	●	●	●	●	●	①自主的・継続的に社会教育活動を行う小集団の育成・支援（活動場所の確保及び施設使用料の免除）を行っています。 ②グループ活動成果の社会還元として、人材バンクに登録し、完全学校週5日制に関わる事業や総合的学習時間の講師および公民館講座の講師として要請により派遣しています。	①自主グループの育成 中央3、蛸池4、庄内1、千里7のグループの小集団の育成・支援を行いました。 ②学校への講師派遣は出来なかつたが、公民館講座への助手等で協力を要請しました。	平成22年度より、グループへの施設使用料の免除は廃止されるが、会場の確保により、今後もグループの育成・支援を行います。 活動成果としての社会還元（例、公民館まつりへの協力）は今後も要請します。	○
	119	公民館活動への支援		●	●	●	●	●	●	●	地域にねざした社会教育活動を推進します。春秋講座、体育祭、文化祭、入権学習講座、家庭教育学校など、地域教育力を高めるため重要な役割を果たしている公民館に対して、その活動が振興するように本館共催事業をはじめ、分館出前講座、情報提供、指導助言を行っています。	分館春秋講座では、2分館が食育に関する講座を実施。 文化祭・夏祭りでは、食に関する取り組みを行っています。	文化祭や夏祭りでは、多くの分館が食を通して「地域の味」を伝承しています。 今後もこうした分館活動の取組みに対して、公民館として活動を支援していきます。	○
	120	豊中市農業経営者協議会との協働による都市農業の振興					●	●	●	●	①部会ごとに事業を実施しています。 ○指導若部会一協議会の基本事項等について協議。 ○研究部会一豊中まつり、農業祭において新鮮野菜を安価で販売。市民農園技術指導、農業講座等を実施。 ○花卉部会一花卉の栽培技術の向上等の調査、研究を実施。 ②上記事業を実施している協議会との連携・協働による地産地消の推進、都市農業・食育の啓発を行っています。	学校・保育所の副食野菜の納入 玉ねぎ6.2トン他	地産地消、食育を推進するものであり、継続の必要性があります。	○
	121	学校・保育所・幼稚園・保護者等への食育推進			●	●					①食育情報を提供しています。 ②食育授業への助言をしています。 ③指導教材の紹介をしています。 ④講師紹介をしています。 ⑤食育体験学習先紹介しています。	①～⑤の食育実施支援を行いました。また、保護者への取組みとして、健康教室を開催しました。 母親対象 2回、参加 58人 子どもと父親対象 2回、参加 29人	今後も継続していきます。	○

(1. 行政の取り組み)

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
122 食育指導者研修会	豊中保健所		●	●	●	●	●	●	●	学校・幼稚園・保育所関係者、給食関係者、食育ボランティア、健康づくり関係者などを対象に、食育に関するライフスキルを育む手法など食育実践に役立つ、指導者のための研修会を開催しています。	なし。	学校等での食育が定着されてきたことから、今後は、食育施設の側面的支援を中心に、研修会は必要に応じて実施していきます。	△
123 地域活動栄養士の育成・支援	豊中保健所		●	●	●	●	●	●	●	保健所が進める食育に、地域活動栄養士会トウワディの食育活動を運動させ、活動についての助言や情報提供、指導媒体の開発支援、活動先の紹介を行っている。	年間を通して、豊中地域活動栄養士会トウワディの活動支援を行いました。（豊中地域活動栄養士会トウワディの実施状況参照）	地域の食育推進の担い手として、今後も地域活動栄養士の育成・支援を行っていきます。	○
124 国連・持続可能な開発のための教育（ESD）の10年取組みの取組み	環境政策室、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・他		●	●	●	●	●	●	●	市内外に向けてESDについての学習会・研修等を実施し、ESDの概念の周知とともに、各分野と連携・協働しながら、ESDの視点を取り入れた取組みを進めています。	ESDセミナー（5回）フェアトレードをテーマに実施しました。参加者77人実践編として豊中市民環境展でエコ工房交流カフェを行いました。ESDリソースセンターwebをリニューアルを行いました。	環境関連情報（食に関すること含む）の発信と取り組み団体の行事案内を行います。	○
125 子育て・子育てネットワークづくり	子育て支援センター、社会福祉協議会			●						地域子育て支援センター、地域支援保育士が中心になってコミュニティソーシャルワーカーとともに各小学校区の地域活動を支援するために、関係機関や団体との連携を図りネットワークづくりを進めています。	校区連絡会 36小学校校区 35回実施	校区ごとに相談内容を共有し、同じ視点で地域の親へ対応していただけるような機会としては重要です。	○
126 地域教育協議会（すこやかネット）	地域教育振興課		●	●	●	●	●	●	●	市内全中学校区に設置されている地域教育協議会に対して、市が取り組んでいる子ども対策事業の情報の提供や豊中市内全中学校区地域教育協議会の「交流会」「連絡会」の実施や拠点の整備について支援を行っています。	連絡会の開催5回（各中学校区代表者）全体交流会の開催1回（253人）	食に関する情報交換および発信の場として活用していきます。	○
127 子どもの健康づくりネットワーク会議	豊中保健所		●	●	●					食育を通じて子どもの健康づくりを目的に、関係機関が集まりそれぞれの機関が食育として何が出来るか、連携して何が出来るかを話し合っています。構成員は教育委員会、学校給食関係者、健康支援室、地域活動栄養士会、子どもの食を考える会、健康づくり推進員会、花と緑のネットなどの代表者です。	3回開催（5/29、9/15、2/24）様々な関係機関で実施している食育情報交換および小・中・高・大生対象のコミュニケーションの場を行いました。	この会議を通して、市内の食育関係団体が連携して食育事業に取り組むことが出来ており、今後も継続していく必要があります。	○
128 地域への食育推進	豊中保健所		●	●	●	●	●	●	●	食育への理解が進むよう、食育情報の提供や講師紹介、講師派遣を行っています。	随時、食育情報の提供や講師紹介等を行いました。	今後も継続していきます。	○

市民による自主的運動への支援

関連機関の連携

2. 教育・保育の取り組み

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
1 食に関する情報発信「簡単おいしいワッキング」「びよびよ（離乳食の進め方）」「食育だより」等	各保育所・園、幼稚園、幼児教育課・あゆみ学園※1・しいの実学園※2			●						レシピや食べ物に関する情報などを通じて、保護者に食育の重要性を伝えていきます。	各保育所・園で随時発信「みんな集まれわくわくラウンド」で配布	保育所・園で実施しているメニューは親しみやすく、簡単に作れるレシピなどは好評であり、今後も続けたい。	○
2 保護者向けに発行する通信	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						栄養士等による食育に関する記事を掲載しています。	随時実施	今後も保護者向けに発信する必要があると見られます。	◎
3 給食の献立表等の保護者への配布	各保育所・園、学校給食課、あゆみ学園※1・しいの実学園※2共通			●	●					毎月給食予定献立表を配布。	月1回配布	献立を伝えることで家庭での食事にも役立ててもらおう。食物アレルギーの対応にも活用。	○
4 教室向け給食だより「もぐもぐ」、栄養メモ	学校給食課				●					毎月、教室掲示用に低学年、高学年別に給食だより「もぐもぐ」、献立カレンダー、栄養・食品に関する一コマモを発行しています。	月1回各クラス1枚ずつ、1コマモは4～5種	児童及び保護者がアレルギー対応を行うとともに、望ましい食生活習慣の形成と正しい栄養に関する知識の普及と学校給食への理解を深めるため実施していきます。	○
5 お弁当づくりの冊子	学校給食課				●					お弁当づくりの冊子を6年生児童に配布しています。	発行部数 3800部	中学生は心身とも大きく成長する大切な時期で、栄養バランスのとれたお弁当の参考となるよう実施していきます。	○
6 給食・弁当時の指導	各保育所・園、幼稚園、小学校、あゆみ学園※1・しいの実学園※2共通			●						①食前食後の食事への感謝を指導していきます。 ②食べ物や食べ方を大事にし、残さず食べること指導していきます。 ③食事マナーを指導していきます。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導していきます。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	毎日実施	食べ物と身体作りが繋がっていることを理解してもらっており、食べる量もわかっていっている。仲間と共に楽しく食べ、残さずきれいに食べた時の心地良さを感ずることができ、食べ物に興味を持ち食を話題にする姿がある。	○
出版物	相談対応・指導												

※1 あゆみ学園：知的障害児通園施設

※2 しいの実学園：肢体不自由児通園施設

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
相談 対 応 ・ 指 導	7 集会時の指導	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						①朝食をゆっくり食べから登園するよう指導しています。 ②嫌いなものでも一口食べるよう指導しています。	随時実施	機会あるごとに指導すること、子どもたちの習慣になることも多く、引き続き実施していきたい。	○
	8 一年生給食開始事前指導	学校給食センター			●						新1年生の給食開始前に児童の給食への関心を高めるため、学校給食を担当する栄養士・調理員が訪問を行っている学校もあります。	小学校5校で実施	望ましい食生活習慣の形成と正しい栄養に関する知識の普及と学校給食への理解を深めるため実施していきます。	○
	9 歯科健診の実施	保育課 保健体育課			●	●					虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。	年1回実施	お口の健康を維持・増進に努めました。虫歯の早期発見により、子どもの健康管理に有効です。	○
	10 歯みがき指導	豊中市民間保育園連合会加盟保育園、市立幼稚園			●						昼食やおやつの後に行う年齢に応じた歯みがき指導を行っています。	随時実施	歯みがきを習慣づけるため、継続する必要があります。	○
	11 ふれあい子育て相談	各保育所・あゆみ学園※1			●						子育てに関する電話相談と来所（園）による相談を行っています。	随時対応		○
	12 幼児教育支援センターでの相談	幼児教育課			●						教育相談や育児相談を行っています。	教育相談毎月第1月曜 育児相談随時受付	来所でも電話でも受け付けています。食事も含めたしつけ・健康・保育に関する内容が多いです。	○
	13 地域に開かれた幼稚園づくり事業での相談等	幼児教育課・私立幼稚園			●						私立幼稚園における「子育て支援事業」（育児・教育相談など）を実施しています。	11園 83回 207人	私立幼稚園33園において幼児教育の充実事業と子育て支援事業を実施し、事業開始後定期的に地域の未就園児対象に支援を行う園が多くあり、少しずつ定着してきています。	○

※1 あゆみ学園：知的障害児通園施設

※2 しいの実学園：肢体不自由児通園施設

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
14 育児相談・就学前相談 育児相談・指	幼児教育課・市 立幼稚園			●						公立幼稚園を会場に、地域の子育て中の 保護者を対象にした専門家による相談事 業を実施しています。	37回 219人	心身の発達やしつけ、進 学に向けての内容が多く なっています。	○
15 保育、教育の中で交流体験機 会提供 交流・体験機会の提供	各保育所・園、 幼稚園、幼児教 育課、小学校			●	●					①野菜や稲の栽培、収穫物による調理な どさまざまな体験を積み重ね、食を営む 基礎を育てています。 ②もちつき等の季節行事を催していま す。 ③保護者に、実施状況を報告したり、参 加・協力の場を設けることで、家庭への 情報発信及び食文化の広運や交流を行っ ています。	随時実施	食に関わる様々な体験を 共有することで子どもと 子ども、子どもと大人、 大人と大人など、人と人 がつながっている。 子どもの姿から、親子の 会話も食に関する話題が 多くなり、家庭において も「食」への理解が深ま る。	○
	豊中市私立幼稚 園連合会加盟幼 稚園 豊中市民間保育 園連合会加盟保 育園			●						○農家と交流しています。 ○角のさばき方の昇参をしています。 ○年齢に合った調理体験・収穫体験を 行っています。 ○季節行事： らっきよ漬・栗拾い・干 柿づくり・収穫祭などを行っています。 ○茶道体験をしています。	随時実施	体験することで食育に関 心をもつ子どもも多いこ とから、園ごとに工夫を して継続していきます。	○

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
交流・体験機会の提供	16 給食	各保育所・園、 小学校、あゆみ 学園※1・しい の実学園※2共 通		●	●					①こどもが、おいしく、安全に、楽しく 食事をすることで、心身面の発育を促 して（保障して）います。 ②季節の行事食を提供しています。 ③給食の配膳を児童・生徒が自ら行うよ うにしています。	給食をおいしく楽しく食べられる よう、子どもたちが様々な取り組みを 行なっています。○お味担当 者○自分でおにぎり○調理に関わ る（野菜の皮むき・すじ取り・和 え物を仕上げる・おやつ作り etc.）○給食材料を見る・触る○ 厨房の見学 等	食材に触れたり、給食作 りに関わり調理の過程を知 ることで、食材や調理が 深まり、給食に期待感を 持って、より積極的に食 べるようになった。「食」 物に興味をもち、「食」 を話題にする。	◎
	17 公立保育所における環境食育 推進事業	豊中市私立幼稚園 連合会加盟幼 稚園		●						①和食中心のメニューを多くしていま す。 ②食材そのものの美味しさを知るようシ ンプルな調理も取り入れています。 ③希望する園児が、16時のおやつづく りに参加しています。 ④日常の給食に保護者が参加できる機会 を設けています。 ⑤給食を委託する業者を検討するための 試食会に保護者も参加できるようにして います。	随時実施	バランスの取れた食事や 楽しい食生活を送れるよ うに、引き続き献立の工 夫を行っていきます。 保護者と意見交換を行な うことは、よりよい給食 提供につながるもので、継 続してまいります。	○
	18 給食の試食と、給食センター 所長・栄養士による講演会	給食センター、 各小学校PTA		●	●		●			①保育活動において、年間を通じて、ゴ ミの減量や堆肥作りを行い、併せて食育 の推進について計画的に取り組んでいま す。 ②関係部局・団体と連携を図り、他保育 所及び保護者や地域の子育て家庭への情 報提供を行っています。	「食育と環境の取り組み計画」に 基づき年間を通して保育において 実施し、年度末にはその実施状況 について評価・反省を行い、次年 度への課題とした。	ねらいを明確にして保育 計画に位置付け、年間の 見直しをもった取り組み を継続していくことが必 要です。	◎
	19 学校給食週間	学校給食課 給食センター		●						給食の試食と、給食センター所長・栄養 士による講演会を開催しています。	小学校 37校で実施	食への関心を高めること と学校給食への理解を深 めることを目的に、実施 していきます。	○

※1 あゆみ学園：知的障害児通園施設
※2 ししいの実学園：肢体不自由児通園施設

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
交流・体験機会の提供	20 児童の社会見学の受け入れ	各学校 給食センター			●						学校調理員、栄養士との交流を深め、給食ができるまでを見学することで関心を高めています。	原田センター 3校 服部センター 5校	給食への理解と食への関心を深めてもらうことを目的として実施していきます。	◎
	21 給食センターの見学（市民向け）	給食センター						●	●		給食センターの様子を見学し、学校給食への理解を深めています。	9団体が見学	給食への理解と食への関心を深めてもらうことを目的として実施していきます。	○
各種料理教室・講演会・イベント	22 保育、教育の中で、調理体験、イベントなどの取り組み	各保育所・園、幼稚園、小学校、あゆみ学園 ※1			●						①栄養素について学んでいます。 ②調理実習を体験しています。	給食作りに関わったり、菜園活動の収穫物によるクッキングなど年間を通じて随時実施。魚の解体見学後に給食で食べる等。	偏食の矯正。食べ物の命を感じて大切にいただく気持ちが高まりました。共に経験、共感し仲間関係が深まり、自信にもつながった。	○
		豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						○季節の果物や野菜について学んでいます（講師：生産地の農協関係者）。	随時実施 ・アレルギー対応クッキング ・家庭から持参した食材を使っての調理体験	食べものに興味を持つきっかけづくりとして効果的と考えます。	○
	23 保育所地域活動事業	保育所		●	●	●	●	●	●		所庭開放、誕生会、養育測定、年間行事、高齢者との世代間交流、育児講座、赤ちゃんサークル等を行っています。	地域の子育て家庭対象に所庭開放毎日。誕生会・養育測定月1回。保育所行事に参加案内。世代間交流随時。講座・サークル活動の定期的実施（毎月）	安心して遊べる場所であり、情報交換や相談などで継続して来られる方が多く、地域に果たす役割は大きい。	○
	24 「食」に関する子育て講座	保育所			●						保育所給食をもとに、幼児食や手作りおやつ、食事の話などの講習を行なっています。	地域の子育て家庭対象、各所2回程度開催。1回20～30組。	保育所給食の実際を基に行なうので、理解されやすい。	○
	25 赤ちゃんサークル「びよびよ」での離乳食講座	保育所			●						保育所給食をもとに、離乳食の講習を行なっています。	地域の子育て家庭対象、各所1～2回開催。1回10～20組。	保育所給食の実際を基に行なうので、理解されやすい。	○

※1 あゆみ学園：知的障害児通園施設

※2 しいの実学園：肢体不自由児通園施設

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
各種料理教室・講演会・イベント													
26 メニューコンテスト	保健体育課 豊中保健所			●						保健所と共催で、小学5・6年生からメニューを募集してコンテストを行い、入賞献立を学校給食に取り入れています。	「気になるメタボ! アクティブ家族のためのヘルシーメニュー」をテーマに、7～8月に実施し、10月には体育の日イベントで表彰式と入賞作品ポスター展示を行いました。(応募児童1774人、入賞12人) 20年度の入賞作品からは、21年度に3作品を7月の学校給食に採用したほか、2作品を地域の惣菜店で商品化しました(7～8月)。	毎年夏休みに実施し、多くの応募があります。おいしい、楽しく、食事をしよう、家族のために「ヘルシーメニュー」を考えることで、家庭における食育の推進につながりました。 また、入賞作品の学校給食採用、給食日より等での紹介、地域イベントでの表彰式実施、惣菜店での商品化等により、学校関係者・保護者・地域住民にも広く認知されるようになってきており、今後とも継続していきたいと考えています。	○
27 キッズフェスタ	幼児教育課		●							親子の触れ合いや遊びの場の提供、幼児教育情報発信の発信の中で「食」に関する情報の提供をします。	参加者数 2,521人	悪天候でしたが、市民に定着したくさんの来場者がありました。情報発信のあり方。参加園増加に伴う内容の検討及び開催場所の検討。	○
28 子育て総合支援事業「子育て支援講座」	幼児教育課、幼稚園		●							専門講師による講演や親子ふれあい遊びなどの実技を通してつながりを広げていきます。	26回 1,558人	各園、食育をテーマにした講座も取り入れる傾向にあります。保護者のニーズを的確に捉え、事業効果を高めていきます。	○
29 親子の学び場講座	幼児教育課		●							料理・リトミミック・音楽・スポーツチャンパなど多様なジャンルの専門講師による遊びの提供や講演会などを実施していきます	8回 592人	多様なジャンルや角度から、乳幼児の子育てに関する情報や知識を提供し、親の教育力を高める様に努めました。土曜日に開催することにより、より多くの親子への参加の機会を提供しました。	○

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今 後 の 方 向 性
30 在園児及び未就園児の保護者 向け講演会	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園 豊中市民間保育園連合会加盟保育園		●							①幼児期の食についての講座を開催しています。 ②給食の試食を行い、その中で、栄養士・教諭が給食の意義・給食で行う指導について説明しています。	随時実施	引き続き実施します。	○
31 バザー	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園		●							産地直送の野菜コーナーを設けています。	地域の人のお店を出店 残屑処理機でできた肥料のブレンドなど、各園で工夫して実施した。	地域に根ざした交流で評価できます。エコ教育を広めることもできます。	○
32 文化活動 文化クラブ「クッキング」「手芸＆料理」	少年文化館			●						市内在住の児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りおやつや食事の話などの講習及び調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。	「クッキング」実施回数30回 延べ参加者数318人 「手芸＆料理」実施回数28回 延べ参加者数233人	定員を超える申し込みがあるため、希望者全員が受講できるようにしていきたい。	○
33 創造活動（通所指導教室）プログラム「クッキング」	少年文化館			●						不登校児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りご飯や食事の話などの講習及び野菜の栽培、自家栽培による収穫物を使っての調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。	市内館は第1・3・5水曜、千里館は第1・3金曜に実施	毎回多くの児童生徒が出席するので、生きる力を養う意味でも食に対する関心を高めるようにしていきたい。	○
34 保育、教育の中で食の循環に関する取り組み	各保育所・園、小学校、あゆみ学園※1・しいの実学園※2共通		●	●						保育・教育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野草くす・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、こみの減量に取り組みむとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育んでいます。	季節折々の野菜や稲の栽培を年間計画して実施。給食の食材に使用した所もありました。	堆肥作り、菜園活動、収穫、クッキングと一連の体験をすることで、「食を営む力」を育む基礎となると考えます。	○
35 とよっぴー（生ごみ・剪定枝・堆肥）で作った市内農作物を給食食材として使用する「食のリサイクル」の取り組み	保育所 学校給食課		●	●						とよっぴー（給食から出る生ごみ・剪定枝・堆肥）で作った市内農作物を給食食材として使用する「食のリサイクル」の取り組み	たまねぎ3回314kg・じゃがいも3回403kg使用。	市内の生産者と保育所がつながり、安心・安全な食の提供と地産地消の取り組みとして有効です。	◎

※1 あゆみ学園：知的障害児通園施設
※2 しいの実学園：肢体不自由児通園施設

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
連携	36 技能員研究会	保育課		●							保育所・あゆみ学園・しいの美学園の技 能職員と担当保育所長及び保育課栄養士 が、給食作りを中心に食育と給食衛生を 考える。保育における子どもの安全と環 境整備を考え、環境保全・食育に関わる 研究の推進をはかっています。	研究会7回開催（勉強会・講習 会・情報交換等）「わくわくらん ど」「環境展」の出席準備。 講師招牌研修会1回（六感で味わ う食育）	保育における食と環境の 取組の重要性をあら ためて認識し、おいしく 楽しい給食づくりの向上 と食育・環境の取組 が進みました。	◎
	37 環境食育推進年間計画の作成	保育課		●							保育活動において、ごみの減量や堆肥作 りを行い、併せて食育の推進についての 取組を、年間を通じて見直しをもっ たものにするため、年間計画を作成して います。	各保育所・園の状況に応じて計画 し実行。年度末に総括した。	保育計画にどう絡めてい けばよいのか、取組 み内容も含めて課題が見え ました。次年度につなげ ていきたい。	◎
	38 食育目標の作成	保育課	*	●							「豊中市食育推進計画」「改定保育所保 育指針」を踏まえた豊中市立保育所の食 育目標を作成。	食育目標を基に、各保育所・園で 食育に取り組んだ。	食育目標を達成するた めの取組を意識して保 育計画に位置付けていく ことが大切です。	◎
	39 「食育年間計画」の策定中	市立幼稚園		●							幼稚園教育で「食育の年間指導計画」に 基づき指導します。	7園	幼稚園においては、幼児 が食を楽しむ内容であつ たり、幼児の健康と安全 に十分配慮するよう保護 者に求める一方、園児に は適切な食生活の習慣を 身につけさせ、栽培や調 理活動を通じ、食への関 心を持つよう取組を進 めました。	◎
	40 学校における「食に関する指 導の全体計画」の策定	保健体育課		●							①各校の定める食育の年間指導計画に基 づき指導します。 ②「食に関する指導の手引き」を活用し た指導、教科・領域などにおける食に関 する指導、給食時間における食に関する 指導などを進めています。	54校で策定	全小中学校策定を平成22 年度中に目指します。	◎

(2. 教育・保育の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
41 小・中学校における指導体制 の充実	保健体育課	*		●						今後配置される栄養教諭などを中心に食育を推進するとともに、教職員を対象とした食育に関する研修会を開催するなど食育の重要性に対する教職員の意識を高め、理解を深めるよう取り組みます。	4校に栄養教諭を配置	食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動する目標推進につなげられました。	◎
42 教職員研修	教育センター			●						児童生徒が自立した生活を営むために必要な知識や技術等についての支援方法を探ること等を目的に、教職員を対象とした研修を実施しています。	技術・家庭科教育研修において、「参加体験型ワークショップ」を通じて子どもたちに伝えたいもの”を実施。15人参加。	食育に関する研修については、今後も検討していきます。	○
43 職員への教育	豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園			●						職員が終礼時に、給食献立に関連する栄養・文化・歴史等について調べ発表しています。	随時実施 食に関する研修会にも参加。	毎日の給食指導に生かすことができています。	○
44 (仮称) 豊中市新学校給食センターの整備 (原田・服部学校給食センターの建替)	学校給食課			●						食物アレルギーや障害のある児童への対応食をはじめ、安全でおいしい給食を提供し、食育を推進するための学校給食に関する情報を発信する機能を備えた(仮称)新学校給食センターの整備をめざす。	「(仮称) 豊中市新学校給食センター基本計画」に基づき候補用地の調査・選定評価を行ったほか、食器具やアレルギーなどの対応について検討しました。	現在の衛生管理基準に適合するとともに、食育やアレルギー対応など最新の給食センターとして安心・安全な学校給食を実施するため早期の建替えがもたらされています。	○

3. 地域社会の取り組み

事業等	事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
相談対応	1 子育てサロン	社会福祉協議会		●	●						親の出会いの場・学習・交流の場づくりとして、校区福祉委員会と民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行なっています。	38校区で開催 年回数 480回 延べ参加者数 16,537人	市民への啓発の場として、継続して実施します。	○
	2 ふれあいサロン	社会福祉協議会		●	●	●	●	●	●	●	なかまづくり・健康増進、いきがいくりの場として開催校区福祉委員会・民生・児童委員が連携して実施。食育に関する相談も行なっています。	38校区で開催 年回数 1,022回 延べ参加者数 15,002人	市民への啓発の場として、継続して実施します。	○
体験	3 世代間交流	社会福祉協議会、校区福祉委員会、民生・児童委員		●	●	●	●	●	●	●	世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも掘り、もちつき、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラム実施しています。	38校区で開催 162回 参加者数 26,661人	世代間交流は今後も継続してしていきます。	○
	4 自然と親しむ事業	社会福祉協議会、校区福祉委員会		●	●	●	●	●	●	●	いも掘り等の土に親しむ事業を全市的に実施しています。	23校区で開催 延べ参加者数 1,321人	市民への啓発の場として、継続して実施します。	○
	5 小学校との交流	老人クラブ連合会（埴池統台延寿会）		●	●					●	埴池小学校花壇に野菜や花を植えて学習の教材として提供しています。じゃがいも、さつまいも掘りを生徒の居機にしたいでいます。毎年8月には「終戦記念日」前後に当時にのんのん「すいとん」を作り、500人分を用意します。中身のなす、じゅうばちさげ、ねぎ等は学校花壇の畑で出来た野菜を使用します。	左記内容の他に、小学校との学習とあわせ、キャベツ・カブラの生青葱、学校の希望のものを植え学習用に提供しました。作物に育つ青虫なども学習教材として提供しています。	学校や子どもたちに好評でした。今後も工夫をして取り組みたい。	◎
	6 男の生活力養成講座	とよなか男女共同参画推進センター						●	●	●	団塊の世代の男性を主な対象とする、食の自立を始めとした生活力の養成と、ネットワーク作りをめざす講座を開催しています。	男女共同参画週間事業として「女と男 個と個が輝く社会へ」をテーマに、男女ともが個性を發揮できる社会づくりを考えました。	男女共同参画という視点から「男の生活力」を促し、新しいかたちの「男の自立」を提案しました。	◎
	7 男の料理教室	とよなか男女共同参画推進センター	*					●	●	●	男性の生活自立と定年退職後の暮らしの充実、地域での仲間づくりを目指します。料理を体験することで料理の楽しさと健康への関心を深めます。	9/15（火）、3/16（水）の2日間「旬の食材を使った料理を楽しむもう」をテーマに料理研究家・吉田清彦先生を招き料理教室を開催	男性が料理の楽しみを知り、料理研究家の指導によって「食と健康」について考えるきっかけとなりました。男性の料理教室は今後も継続したいテーマです。	◎
各種料理教室・講演会・イベント														

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
8 健康教室	健康づくり推進 委員会		●	●	●	●	●	●	●	健康づくり推進員がその居住する小学校 区において、豊中市（健康支援室）と協 力して実施する健康教室で、食育や口の 健康に関するテーマも取り上げていま す。校区福祉委員会・公民館・老人会 等と共催したり、講師を市や保健所の専 門職員以外に地域住民にお願いしたり、 小学校や地区会館で行ったりと、地域に 密着して行っています。	校区健康教室 91回、2,507人 うち、食育に関するテーマ 23 回 802人	市民が健康に関心をもち きっかけとなり、今後も 継続していききたい。	○
9 市民健康づくりフォーラム	健康づくり推進 委員会		●	●	●	●	●	●	●	健康づくり推進員及び一般市民を対象に 健康に関する情報を伝える講演会を開催 しています。	1回 239人	フォーラムのテーマは食 育に特化はしていない が、フォーラム開催時に 食育に関する情報提供も 必要に応じて行っていき たい。	○
10 男性の料理教室	社会福祉協議会						●	●	●	男性の食育や自立を目的に実施していま す。	1回 28人	市民への啓発の場とし て、継続して実施しま す。	○
11 ひとり暮らし高齢者の会食会	社会福祉協議 会、校区福祉委 員会							●	●	みんなで会食をすることで、孤立感を防 ぎ、仲間作りを行っています。	38校区で開催 年回数 351回 延べ参加者数 12,882人	市民への啓発の場とし て、継続して実施しま す。	○
12 ミニデイサービス	社会福祉協議 会、校区福祉委 員会							●	●	虚弱高齢者を対象に手作りミニデイサー ビスを実施しています。食育に関する相 談も行なっています。	6校区で開催 年回数 100回 延べ参加者数 1,390人	市民への啓発の場とし て、継続して実施しま す。	○
13 食育に関する講習会	老人クラブ連合 会							●	●	講師を招いて講習会を開催し、食育に関 して学ぶ機会をつくっています。	各地区の老人クラブにて「高齢者 の食育」「介護予防のための食 事」などの講習会を実施	回数・開催地区を増やし て実施したい。	◎
14 料理教室	老人クラブ連合 会							●	●	高齢者対象の料理教室を老人会各地区で 実施しています。	随時実施	引き続き実施したい。	○
15 電話・面接健康相談	財団法人豊中市 医療保健セン ター		●	●	●	●	●	●	●	電話もしくは面接で、健康に関する相談 に対応しています。相談の対応は、医師 会・歯科医師会及び薬剤師会の会員が行 い、食育や口の健康に関する内容も相談 できます。 市民健康展会場での相談では、栄養相談 の窓口も設けています。	市民健康展会場での相談を含め、 年間12回開催	アンケート実施などによ り、ニーズの把握に努め ます。	△

各種料理教室・講演会・イベント

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	所管	新規 *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
16 豊中市学校歯科医会 研修会	豊中市学校歯科医会			●	●					少年期のさらなる健康増進に寄与するため、学校歯科医師が学校保健活動でより良い指導・助言を行うのに必要な研修を行っている。食育についても取り上げています。	大阪府学校歯科医会より講師を招き講演会を実施。	今後も引き続き実施していきたい。	○
17 歯の保健巡回指導	(社)豊中市歯科医師会 豊中市学校歯科医会			●						児童が歯の健康に関する知識と関心をもち、歯の健康の維持と病気の予防を実践できる能力を身につけることを目的とし、歯科衛生士専門学校の協力のもと、2年サイクルで市立全小学校に保健巡回指導を実施しています。	歯科衛生士専門学校5校により、19校にて実施。	今後も引き続き実施していきたい。	○
18 よい歯の集い	(社)豊中市歯科医師会 豊中市学校歯科医会		●	●	●	●	●	●	●	口腔衛生の啓発を目的に、歯の衛生週間(6月4日～10日)中の土曜日に、小学校を会場に、啓発イベント、学校歯科医による講演、歯科医を講師とする特別授業参観等を実施。講演会では食育についても取り上げています。	庄内西小学校で実施。総来場者数1,064人。	食育パネルの掲示などをより工夫し、さらなる食育啓発に努力していきたい。	◎
19 よい歯の高齢者8020表彰	(社)豊中市歯科医師会								●	80才以上で20本以上歯のある市民を対象に公募。21年度より表彰式の開催形態を大幅に変更し、アクア文化ホールにて受賞者を一同に会し開催しています。	過去最多の155人を表彰。	年々受賞者数が増加している事は大変喜ばしいことです。	○
20 よい歯のコンクール	(社)豊中市歯科医師会			●						大阪府主催の「全大阪よい歯のコンクール」の地区審査会を豊中市健康支援室のご協力のもと、3歳半健診を受診した幼児と保護者を対象にコンクールを実施しています。	地区代表1組、地区優良2組を出。	今後も引き続き実施していきたい。	○
21 幼稚園・保育所歯磨指導	(社)豊中市歯科医師会			●						(財)ライオン歯科衛生研究所のご協力のもと、豊中市内の幼稚園、保育所で歯磨指導を実施しています。	5園所にて、762人に実施。	例年30近い園所よりご応募を頂き、なかなか希望に沿えない状況が続いている為、22年度より歯科衛生士専門学校のご協力を得て、追加実施の予定です。	◎
22 豊中市民健康展	(社)豊中市歯科医師会		●	●	●	●	●	●	●	豊中市医師会・歯科師会とともに主催。歯科ブースでは歯科健診、歯磨指導、口臭検査、フッ素塗布、食育パネルの掲示などを実施しています。	歯科ブースでの総のべ来場者数は1,519名。	食育パネルの掲示などをより工夫し、さらなる食育啓発に努力していきたい。	◎

各種料理教室・講習会・イベント

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	所管	新規 ＊印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
23 8020運動推進特別事業ワー クショップ「お口の健康と介 護予防」	(社)豊中市歯科 医師会						●	●	●	豊中市健康支援室のご協力のもと、「介 護予防サポーター養成講座」の中の1講 座として、一般市民等を対象としワー クショップを実施。グループ（1グループ に歯科医師2名含む）に分かれ、お口の 健康について討議。	歯科医師8人、一般参加者17 人。	参加者より、あらためて 口腔ケアの大切さを知り 大変有意義な時間であっ た、との感想を頂きました。 各人がしっかりと意見を 言えるよう1グループ の人数を減らすなど工夫 した結果、活発な討議が できました。	○
24 各種の食に関する講座	豊中地域活動米 食士会トウティ		●	●	●	●	●	●	●	様々な年代を対象にした食に関する講座 を通して、健康づくりの支援と食に関す る情報提供を行い、食育を推進していま す。	幼稚園、小中学校、公民館、くら しかん、市民健康展等、地域での 食育活動を実施しました。61回 610人。	今後も地域での食育推進 活動を行っていきます。	○
25 料理教室	とよなか消費者 協会 豊中市小売市場 連合会						●	●	●	共催で料理講習会を開催しています。	和菓子作り講習会 2回（5月、 10月） 料理教室 1回（3月）「春の旬の 素材を使って楽しくクッキング」	市民向けに食に関する情 報を発信する場として活 用していきます。	○
26 緑と食品のリサイクルブラザ 運用事業	NPO法人とよ なかもみどり環境 アジェンダ 21・花と緑の ネットワーク 公園みどり推進 課		●	●	●	●	●	●	●	①見学者に対する有機性資源循環の仕組 みと食の重要性の啓発を行っています。 ②「とよな祭り」において、豊中産 もち米を使用した餅つきや、いも掘り体 験などを実施しています。	①見学・視察対応：33回、945 人 ②とよな祭り参加者数： 約1,000人	①単純な見学より豊体験 と運動して施設を見学し ていただく機会が増加し ています。 ②とよな祭りの出来栄え が楽しく苦情につながりま したが、雨天の状況から 考えても好評さが伺えま した。	○
	NPO法人とよ なかもみどり環境 アジェンダ 21・花と緑の ネットワーク 公園みどり推進 課			●			●			親子や児童・生徒などに対し、「とよな びー園」において、野菜の植え付け・ 収穫などの食育体験活動の場を提供して います。	体験型学習：24回、1,065人	一部有料にしたことでもあ り、児童を対象とした体 験型学習は減少傾向にあ りますが、親子を対象と した連続講座は好評で す。	○
27 堆肥化講習会	NPO法人とよ なかもみどり環境 アジェンダ 21・花と緑の ネットワーク 公園みどり推進 課						●	●	●	家庭向け堆肥づくり講習会を行うことに より、生ごみの発生抑制、家庭菜園での 堆肥活用を促進しています。（於：くら しかん・リサイクルプラザなど）	22回、193人	定期的な開催に加え、保 育所などで実演を交えた 講習会を実施しました。	○

各種料理教室・講習会・イベント

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
各種料理教室・講習会・イベント	28 野菜作り講習会						●	●	●	有機性資源を利用した上手な野菜づくりの講習会を開催しています。(於：くらしかん)	3回、66人	植え付け時期の少し前に開催するなど、工夫して実施しました。	○
	29 出前講座			●						希望する小学校等に出向いて次の講座を実施しています。 ①学校菜園での野菜づくりへの助言。 ②米づくり・食品ごみ・地産地消などについて、発生抑制・減量・資源循環の視点からの話。	①体験型出前講座：16回、1,376人 ②講座型出前講座：13回、1,010人	体験型の学習だけでなく、教室での農と食を中心とする講座型環境学習の機会も増加しました。出向く学校が定例化しているの、新たな学校等の開拓が課題です。	○
	30 とよっぴー倶楽部						●	●	●	市の堆肥化事業の市民応援団を組織し、有機性資源の活用を促進しています。年会費1,000円で、主にとよっぴーの旗布日に受付けています。また、年4回のニュースレターを発行・郵送しています。	とよっぴー倶楽部会員数：103人 (平成22年3月末現在)	市外の人も含めて地産地消や食の循環の考えに賛同いただいています。情報の発信にレターだけでなく、webなどを活用するなど、活動の幅とスジードを増すことが課題です。	○
	31 男女共同参画推進活動への支援		●			●	●	●	●	グループ・団体活動の情報収集・提供、自主グループ活動育成・支援、グループ活動活性化のための講座の開催、すてっぷ登録団体助成金交付、グループ活動リーダー養成、ワークスペース・機器等の提供、交流ネットワークの機会提供、ネットワーク協議会の組織化などを行っています。	すてっぷ登録団体助成金事業として2団体の応募、協賛、後援事業としては5団体の応募がありました。市民協働企画として「わたし時間」の見つけ方」をテーマに、男女共同参画を推進する講座を企画・運営する人材の組織化を図りました。	市民の男女共同参画を推進する自主的な活動に、経済的支援をし、事業実施に必要施設・設備の充実に必要図り、広報協力を図りました。市民をサポートすることで、男女共同参画活動への市民参加の機会を増やしていきます。	◎
活動支援	32 地域子育て支援事業			●						①わいわい子育てミーティングを開催しています。 ②子育てサークルマップを作成しています。 ③校区福祉委員会での子育て支援活動(小地域福祉ネットワーク活動)を進めています。	①年1回 29人参加 ②5,000部発行 ③38校区で開催 年回数 480回 延べ参加者数 16,537人	市民への啓発の場として、継続して実施します。	○

(3. 地域社会の取り組み)

事業等	所管	新規 に *印	妊 娠 期	幼 年 期	少 年 期	青 年 期	壮 年 期	中 年 期	高 年 期	内 容	21年度実施状況	考 察	今後の 方向性
食品廃棄物・地産地消													
33 地産地消バザー	NPO法人とよ なか市民環境会 議アジェンダ 21・花と緑の ネットワーク 公園みどり推進 課						●	●	●	地産地消の推進を目的に、「生活情報ひろば事業」の一環として実施している地産地消バザーに参加しています。(於：くらしかん、第2水曜日) また、単独での頒布会や各種イベントでの頒布も行っています。	野菜の頒布：23回、1,631人	地産地消野菜を提供いただけた協力農家が少しずつ増加しており、バザーの参加に加え、平成21年12月より単独での頒布会(野菜市)も月1回開催しました。	○
34 生ごみ堆肥化容器等助成	NPO法人とよ なか市民環境会 議アジェンダ 21・花と緑の ネットワーク 公園みどり推進 課						●	●	●	家庭での生ごみの堆肥化活動を支援するため、堆肥化容器等の購入費の助成や資材などの配布をしています。	ダンボール資材：20件 コンボスター：7件 電動処理機：2件	気軽に取組めるダンボール箱での堆肥づくりを中心に、活動を支援しました。	○
35 地産地消のレシピ作成	とよなか消費者 協会	*	●	●	●	●	●	●	●	平成21年3月開催のくらしの研究発表会で「地産地消の推進」として、地産地消のお料理レシピを発表しました。	今年度は我が家の料理レシピ集としてパネル展を実施。		完
36 豊中産大根の試食	とよなか消費者 協会		●	●	●	●	●	●	●	農業祭で市民300人に大根炊きをして試食していただきました。	300人が11時開始と同時に並び15分で品切れしました。	おいしく楽しく食べることにつながる取組みと考えます。	○
37 市民レングまつり、野菜もぎとり園	市民レングまつり実行委員会 農業委員会事務 局		●	●	●	●	●	●	●	市民レングまつり会場で野菜のもぎとり園を実施し、市民に土に親しんでもらい、自らが収穫する楽しみと新鮮野菜を食する喜びを提供するとともに市民と農家との交流を図っています。	4月29日(初)に実施 12,000人参加	レングの開花時期を考慮し、開催日を早めて実施します。	○
38 桜井谷あおぞら朝市	桜井谷あおぞら朝市運営委員会		●	●	●	●	●	●	●	桜井谷地域を中心にした地産野菜等を販売する朝市を毎月第1,3土曜日(7月、8月は毎週)午前9時(夏期は8時半)からJJA大阪北部桜井谷支店駐車場で開催しています。	31回開催	地産地消を推進し、地場農産物を知ってもらっためにも、継続の必要性があります。	○

4 その他（食育関連の情報提供等）

食育推進グッズ貸出一覧

食育推進グッズ貸出実績

食育推進グッズ貸出一覧

お借りになりたい方は、健康支援室 栄養士（６８５８－２８００）へお問い合わせ下さい。
使用目的によっては、貸し出しをお断りする場合があります。ご了承ください。

グッズ名、(所管)	概要
食育のぼり・旗 (健康支援室)	食育シンボルマーク・キャッチフレーズの のぼり   旗：５枚、ひもつき (縦約 90cm×横約 160cm) のぼり ：５０本 ボールつき (縦約 150cm ×横約 45cm)
食育ジャンパー (健康支援室)	食育シンボルマーク・キャッチフレーズののぼりが入ったジャンパー (５０枚)(色：ピンク、素材：ナイロン) イベント等で、スタッフジャンパーとしてお使いください。   背面 前面
豊中市食育推進計画 パネル (健康支援室)	食育推進計画概要版（A2,カラー）１２枚 １組  ＊豊中市食育推進計画の概要がわかるパネルです。イベント や講座のときの展示用です。

グッズ名、(所管)	概要
お口の健康づくりパネルシアター (健康支援室)	『にこりちゃんとぴかりくんの大冒険』 ＊「カムカムの街」や「おやつの街」などいろいろな街を通りにこりちゃんとぴかりくんが探検をして学びながら、丈夫な歯を持つ元気な子どもの国に向かって進んでいくストーリーです。  ・パネルシアター絵人形 ・パネルシアターステージ ・台本 ・演じ方DVD ※「にこりちゃん・ぴかりくんの大冒険」作成希望の方もご連絡ください。
そのまんま料理カード (健康支援室)	・ちょっぴりごちそう編 ・食事バランスガイド編 ・3皿でバイキング編 ・菓子飲み物カード (群羊社)  ＊実物大の料理カードです。重たくないので、持ち運びしやすいです。健康支援室では、料理を例示しながらお話しするときに使っています。
食事バランスガイド掛け図 (健康支援室)	縦約100cm ×横約120cm 布タイプ  ＊バランスガイドについて説明するときに使います。大きいサイズなので、講義のときなどに使うことができます。巻いて持ち運びすることができます。

グッズ名、(所管)	概要
食育エプロン (健康支援室)	エプロンシアター 「早ね早おき朝ごはん」 ～生活習慣からはじめる食育～ 演技方 DVD 付 (メイト)  「味覚を育てる食育エプロン」 ～味覚・歯と口の衛生～ (メイト) おいしく楽しく食べる ためのお口の健康づく りについてのお話です  ＊エプロンのポケットから色々なものを取り出して、エプロンにはりつけたりしながら話します。一人で劇のように演じることができます。幼児向けのお話に向いています。
まめつまみセット (健康支援室)	セットの内容 (6 セット) ・塗箸 1 ・割り箸 1 ・器 4 ・小豆 30g ・大豆 30g ・スーパーボール 25 個 セットの他に、・キッチンタイマー 2 個 ＊まめつまみゲームができます。豆などを箸で器から器にうつし、制限時間内に何個うつすことができたかをみるゲームです。盛り上がること間違いなし！ 
お口の体操人形けいすけ君 (健康支援室)	・取り外せる歯や動く舌がついている人形です。  ＊舌や口唇の体操などを指導する際に使います。

グッズ名、(所管)	概要
顎模型と歯ブラシ模型 (健康支援室)	・ 20×15×15cm プラスチックの顎模型 ・ 23cmプラスチックの歯ブラシ模型  ＊歯磨き指導の時に使います。
口腔内カメラ (健康支援室)	小さなカメラをお口の中に入れ、9インチ程度のモニターでお口の中の状態を見ることができます。 (3台) 
よい歯のつどいカルタ (健康支援室)	B4サイズラミネート 読み札 50枚、取り札 50枚  ＊平成21年度に庄内西小学校で行われた「よい歯のつどい」に展示された庄内西小学生作のカルタです。 ひらがなの読めない子どもでも取れるように、読み札の裏側に取り札と同じ絵を印刷しています。
はてなボックス (学校給食課)	＊クイズをしながら食育 カードを入れると？ボックスの中でくるとひっくり返り、答えが出てきます。 

グッズ名、(所管)	概要
紙芝居 (学校給食課)	*紙芝居 A2サイズの手づくり紙芝居15種類あります。  けんいち君とまさお君のふたごの兄弟が、お皿にのって野菜の国へ行きました。 そこで人参君や玉ねぎ君の話聞き、今まで野菜が嫌いでもよくカゼをひいていたまさお君も、がんばってたべるようになり元気になりました。 ・太郎君のむし歯 ・牛乳のおはなし ・食べもの大行進 ・はな子さんの運動会 ・ケンちゃんのぼうけん ・ステップ ララちゃん ・牛乳をのもう ・なんでも博士のロボット ・行こう！栄養の国へ ・楽しい給食 ・まほうのサラスケ君 ・みんな なかよし ・王子様の旅 ・栄養ってなあに？ ・あさごはんを食べよう
とよっぴー (豊肥) (公園みどり推進課)	2.5kg・5kg 袋 (イラスト入り) 3kg・6kg・10kg (透明袋) *「食の循環」に関する環境教育(食育)授業などに使うことができます。袋詰めしたものをお渡しします。 
食育CD-ROM (大阪府豊中保健所)	CD-ROM「元気っ子クラブ」(大阪府)  〈内容〉 ・がんばれゲンキープ号 (三色栄養) ・野菜バリバリ元気っ子 ・朝食モリモリ元気っ子 ・おいしく楽しくヘルシーに *子どもがクイズやゲームで楽しく遊びながら、健康的な食生活について学ぶことができるソフトです。各メニューお話とクイズ・ゲームで構成されています。小学生向け(内容によっては幼児でも活用できます)。

グッズ名、(所管)	概要
野菜ソングCD (大阪府豊中保健所)	CD「野菜バリバリ元気っ子」ソング(大阪府)  ＊楽しく歌って踊って、からだが元気になる「野菜」をテーマとした歌です。曲に合わせた「元気っ子ダンス」の振り付けがついています。体操や運動会、お遊戯などに最適です。
実物大そのまんま食材・料理カード (大阪府豊中保健所)	食材カード→  ←料理カード 食事バランスガイド編 ＊実物大の食材・料理カードです。重たくないので、持ち運びしやすいです。料理を例示しながらお話するときに使います。(群羊社)
フードモデル (大阪府豊中保健所)	「野菜1日350グラムフードモデル」(川崎フードモデル)  ＊野菜を1日350グラム摂るための組み合わせ方や量の確認が出来ます。 「食育・栄養3色3食フードモデル」(川崎フードモデル) ＊赤、黄、緑の3色の食品を使った朝食の献立例のセットです。3つのグループをそろえることや、朝食のお話に。ランチョンマット付き。キャリングコンテナケースに入っています。 

グッズ名、(所管)	概要
野菜カードゲーム (大阪府豊中保健所)	「Poker831 (ポーカーやさい)」(大阪府) ＊32種類の野菜の絵が描かれたカードゲームです。 ポーカーとしても、絵合わせとしても遊ぶことができます。 遊び方の解説シート付き。 
食育かるた (大阪府豊中保健所)	「野菜バリバリ朝食モリモリ食育かるた」(大阪府) ＊小学生が考えた絵と文で作ったA5サイズの食育かるたです。 
食育大型絵本 (大阪府豊中保健所)	大型絵本「やさいだいすきげんきっこ」(大阪府) ＊朝食のお話、野菜料理とそれに使われている野菜の名前あてクイズなどが出来るA2サイズの大絵本です。 
食育パネル (大阪府豊中保健所)	「野菜バリバリ元気っ子」 「朝食モリモリ元気っ子」   ＊A1サイズのパネルに入っています。(大阪府)

グッズ名、(所管)	概要
野菜断面図クイズ (大阪府豊中保健所)	「野菜断面図クイズ」(大阪府豊中保健所) ＊１０種類の野菜の丸ごとの写真、切り口の写真をそれぞれＡ３サイズに印刷し、パウチした手作り教材。野菜の名前あてクイズなどに使えます。 
食育スケッチブック (大阪府豊中保健所)	「食育スケッチブック」(大阪府豊中保健所) ＊あか・き・みどりの食べ物の仲間の働きやどんな食品があるかのお話に。食べ物カードとセットで、バランスクイズが出来ます。２５ｃｍ×３５ｃｍの手作り教材。 
消費者協会食育パネル (とよなか消費者協会)	・なにわの伝統野菜って？(Ａ１サイズパネル ２枚) ・大阪特産物カード(Ａ３サイズ ２２枚) ・地産地消の推進(Ａ１サイズパネル １枚) ・大阪エコ農産物とは(Ａ２サイズパネル １枚) ・なにわの伝統野菜について(Ａ２サイズパネル １枚) ・日本各地の郷土料理(Ａ３サイズ) なにわの伝統野菜って？ → 地産地消の推進 →  日本各地の郷土料理 ↑ 大阪特産物カード ↑ ＊イベント等で展示することができます。

グッズ名、(所管)	概要
我が家の料理レシピパネル (とよなか消費者協会)	A3サイズラミネート 53枚 *とよなか消費者協会会員が我が家の自慢の料理を持ちよって試食し、写真とレシピをパネルにしました。イベント等で展示することができます。 

食育推進グッズ 貸出実績

平成 21 年度（2009 年度）

貸出日	貸し出したグッズ	使用目的
4 月	エプロンシアター	幼稚園児への教育
7 月	食育パネルなど	「子どもと本のつどい」 part1 で 展示
9 月～10 月	食育パネル、 そのまんま料理カード など	パネル展
10 月	食育のぼり、旗*、ジャンパー*	メニューコンテスト表彰式
11 月	まめつまみセット*	地域の集会
11 月	まめつまみセット*	地域の集会
2 月	食事バランスガイド掛図 そのまんま料理カード	健康教育
3 月	バランスガイド掛図	講習会
3 月	まめつまみセット*	イベント

*： 平成 21 年度の途中から貸し出しを開始しました。

平成21年度（2009年度） 豊中市食育推進計画年次報告書

平成22年（2010年）9月

豊中市 健康福祉部 健康支援室

〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15

Tel 06-6858-2800 Fax 06-6846-6022